

～今年は設立 30 周年・国際ボランティアは 100 周年の記念イヤーでした！

コロナ禍で国を超える移動は春から止まりましたが、多くのご参加・ご協力を頂きました☆～

～地域と地球のポップな架け橋～

NICE 2020 年・総合報告書

(2021 年 1 月・暫定版)

☆カラフルでヘルシーな世の中を☆



<目次>

*「飛ぶ」をクリックすると、各頁に飛びます。

0) 総合	(P02-05)	飛ぶ
1) 主幹事業 1 国際(短期)ワークキャンプの主催	(P06-08)	飛ぶ
2) 主幹事業 2 国際(短期)ワークキャンプの派遣	(P09)	飛ぶ
3) 主幹事業 3 週末(超短期)ワークキャンプの主催	(P10-11)	飛ぶ
4) 主幹事業 4 中長期ボランティアの主催・派遣	(P12-14)	飛ぶ
5) 主幹事業 5 グループ・ワークキャンプの主催	(P15-16)	飛ぶ
6) その他の事業・ネットワーク作り・外交	(P17-19)	飛ぶ
7) 財務・決算	(P20)	飛ぶ
8) 広報	(P21)	飛ぶ
9) 組織	(P22-24)	飛ぶ
10) 地方(北陸・西日本)	(P25-27)	飛ぶ
おまけ: 30 年間の主なあゆみ	(P28)	飛ぶ



特定非営利活動法人 **NICE** (日本国際ワークキャンプセンター)

0) 総合 [目次に戻る](#)

0-1) 2020 年の 5 大ニュース

① コロナ禍で事業・参加者激減⊖

事業数は 63%減（国内 50%減・海外 74%減）
日本人は 75%減（国内 51%減・海外 80%減）
外国人は 82%減（国内 81%減・海外 85%減）



② 設立 30 周年を迎える⊕

2/1-2 の記念イベントは 236 人参加で大盛況！
会員経験者・共催団体との絆が更に深まった。
30 年間で、6,103 回の事業に 81,523 人が参加☆

⑤ 寄付等で大勢に支えて頂く☆

理事会やチームで寄付集めに尽力、会員経験者
や協力団体等 450 人から 641 万円超を頂く。
危機克服・新飛躍プランも会員・共催と作成！



③ NVDA の代表に就任（復帰）⊕

アジア・ボランティア発展ネットワークで、
待望を受け 2 年ぶりの理事・5 年ぶりの代表に。
苦境の国際ボランティア界を牽引していく！

④ 国内ワークキャンプは大人気！

コロナ禍にめげず、夏秋も半数の事業を開催。
日本人の充足率は 94%、各地で例年以上に好評。
国内在住者の中長期事業参加は、昨年の 3 倍増！

0-2) 2020 年の事業数・参加者数

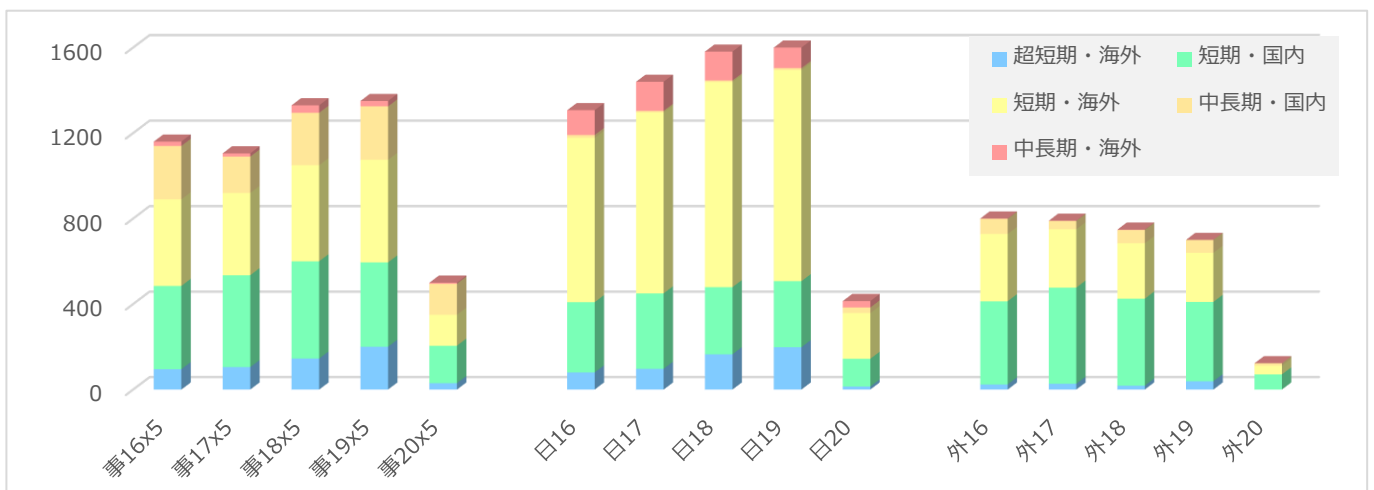
* 超短期：6 日間以下。短期：7～31 日間。中長期：32 日間以上

* 他に数万人の地域住民等が参加！超短期・国内は参加者数の把握に技術的な困難があり、含まず。

①主催事業数（5 倍表示）

②日本人ボランティア

③外国人ボランティア



年間確定値 19年は12/02現在	事業数					日本人					外国人				
	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20
超短期・海外一般	19	19	27	37	6	73	61	94	121	14	0	0	0	18	0
超短期・海外グル	0	2	2	3	0	0	15	28	37	0	0	0	0	0	0
超短期・地元一般	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	24	12	9	0
超短期・地元グル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	6	12	0
超短期派遣	-	-	-	-	-	7	21	43	40	0	-	-	-	-	-
(超短期小計)	161	165	193	76	10	2192	1666	1832	575	108	99	78	155	83	0
短期・国内一般	73	77	87	76	34	313	305	302	294	129	334	380	369	350	57
短期・国内グル	5	9	4	3	1	16	48	12	15	1	55	70	38	21	14
短期・海外一般	69	65	75	80	23	275	339	400	451	108	107	50	36	54	11
短期・海外グル	12	12	15	16	6	130	140	187	201	67	11	1	5	2	7
短期・地元一般	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	163	163	163	109	?
短期・地元グル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	59	56	65	23
短期派遣	-	-	-	-	-	364	368	373	336	39	0	0	0	0	0
(短期小計)	159	163	181	175	64	1098	1200	1274	1297	344	704	723	667	601	112
中長期・国内個人	42	24	41	45	28	2	2	2	3	22	42	23	44	48	11
中長期・国内集団	8	10	8	5	1	11	5	5	6	4	29	16	18	12	0
中長期・海外個人	4	3	3	2	1	20	33	27	31	5	1	1	1	0	0
中長期・海外集団	0	0	4	3	0	3	12	6	2	0	0	0	0	0	0
中長期派遣	-	-	-	-	-	93	91	102	97	25	-	-	-	-	-
(中長期小計)	54	37	56	55	30	129	143	142	139	56	72	40	63	60	11
国内計	270	264	304	165	68	2454	1929	1988	695	250	535	540	606	475	82
海外計	104	101	126	141	36	965	1080	1260	1316	258	340	301	279	269	41
総計	232	221	266	270	100	1307	1440	1581	1634	414	800	790	748	700	123

グル=グループ・ワークキャンプ（大学・企業など、特定の団体のために企画）。一般=それ以外の一般公募事業

0-3) 2030年の社会目標=NICE版SDGs（2016年理事会・総会で作成・決定）抜粋

赤字：元のSDGsの文章。NICE版：赤字を削除して、青字に変える。更に緑字（元のSDGsにはない）の追加を主張。

1.1 現在 1 日 1.25 ドル未満で生活する人々と定義される極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。

→全員が最低レベル以上の衣食住を持つ暮らしを営めるようにする

2.b ドーハ開発ラウンドの決議に従い、すべての形態の農産物輸出補助金及び同等の効果を持つすべての輸出措置の並行的撤廃などを通じて、世界の農産物市場における貿易制限や歪みを是正及び防止する。
→自由貿易による地域農業の破壊から守るため、方向を大転換し、各国・各地域が自由に保護策を実施できるようにする。

2.4（追加）特に、農薬と化学肥料の使用を激減させ、GM作物を根絶し、各国・各地・各家庭の自給率を高め、有機・自然農法を再生・発展する方向に大きく舵を切る。

途上国→物価の安い国
先進国→物価の高い国

6.2（前略）適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、衛生の問題を生むような野外での排泄をなくす。

7.1 2030年までに、持続不可能な原子力や化石燃料に頼らず、安価かつ信頼できる現代→再生可能な自然エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する

8.1 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。（削除）

8.7（前略）あらゆる形態の→悪質な児童労働を撲滅する。一方で良質な子どもの仕事は推奨する。

13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。2050年までに世界全体の排出量を自然が吸収できる範囲に抑え（炭素換算で約100億トン）、人類1人当たりの排出権を平準化する（70億人なら1人1.4トン）等、世界共通の公正かつ客観的な基準を適用しながら、世界全体の平均気温の上昇を1.5-2度以内に抑える。

16.4 違法な資金及び全ての武器の取引を大幅に減少させ（中略）また、核兵器の廃絶に向けて進み、戦争・内戦・テロも根絶する。

17.2 先進国は、開発途上国に対するODAをGNI比0.7%に（後略）
→による貧困撲滅・環境保護等の正の成果を倍増させ、負の成果を半減させる。

0-4) NICE 危機克服・新飛躍プラン

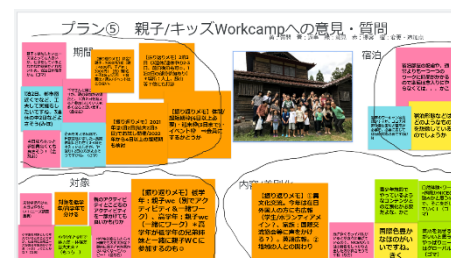
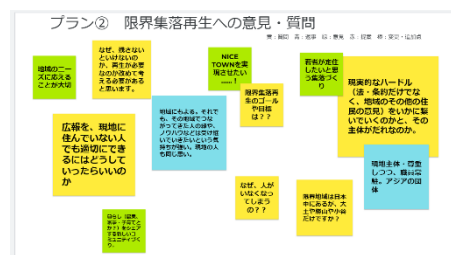
1) プランの背景と概要

国際ボランティア活動はコロナ禍によって今後、数年間は壊滅的な打撃を受けることが懸念される。そんな中で、**NICE と国際ボランティア Movement が生き残り、持続的に再・新飛躍する戦略プラン。**

- ☆ **10・30 年後への大きな長い視野を持ちながら、3 年間程の具体的な計画とする。**
- ☆ **今までの団体・社会を踏まえつつ、そこにとらわれ過ぎずにゼロベースで根本から自由に考える。**
長年必要だった改革・創造に手を付けるのも含む。

2) 完成までの道のり

いつ	誰が	何を
09/27	理事・職員	各自の案を発表・議論開始
10-11 月	各チーム	近いプランを融合・発展
11/13-23	会員・協力団体	意見・アイデアを寄せる
11/25	理事・職員	意見を見ながら、全体会で議論。
12/05-06	理事・職員	プラン全体を仕分けし、まとめる。
12/19	会員（総会）	プラン全体を議論・完成。
12~1 月	中心理事・職員	Web 等で外部や寄付者に発表。
21~23 年	各チーム	各プランを実行！
21~23 年	会員・協力団体	プランの実行に参画！
21~23 年	理事・職員	進捗を見て、適時修正・補強。



大勢の方々にご意見・ご提案を頂き、それらを基に数回の理事会と総会で議論した結果、**以下の 5 つを「必須プラン」として着手することが決まりました。**興味のある方は、ぜひ実行チームに！
今後も磨き上げ、組織全体で本腰を入れて、必ず実現・発展させていきます☆
各必須プランの詳細は、[こちら](#)

01：オンライン・ワークキャンプ（会員・共催評価 21 位、理事・職員評価 1 位）

オンラインで日本＆開催国（アジア想定）を繋ぎ、交流はもちろんのこと、現地へ貢献できるプログラムを実施

N2：限界集落再生（会員・共催評価 4 位、理事・職員評価 5 位）

廃村やその寸前の集落を守り、森・田畑・家・文化を再生する本格事業を地元の NPO と展開。半移住等も推進。

N3：農林水産業応援（会員・共催評価 2 位、理事・職員評価 9 位）

住み込みか共同生活で、食料生産に加わる。学生・長期から開始。技能実習支援・運営や海外農家への派遣も。

J3：企業との連携強化（会員・共催評価 3 位、理事・職員評価 4 位）

各企業へ社会貢献活動を提案。従業員へワークキャンプや事務局ボランティアの紹介。企業や参加者に寄付募集

J5：親子/キッズ Workcamp（会員・共催評価 1 位、理事・職員評価 2 位）

国内で遊び、ワーク、社会学習、SDGs ゲーム、異文化交流等の 4 日間企画。2 週間滞在するボランティアが運営。

また、以下の 10 つを「歓迎プラン」とします。実行体制が整い、立ち上げれば OK です。

O2：小/中/高/社会人向け NICE 学校 週 1×1-3 ヶ月、日本・世界・仕事を知る、英語を使う等の授業を運営。世界の現場から社会を考えるゼミも。	N5：発信・連携推進 教材作って配信や出前授業、安全・旅行・地域情報を発信、本・マンガ・映画や提言作り。Local 間の国際連携推進
O3：NICE ギガ・コミュニティー NICE 経験者なら誰でも入れる Slack の場。スピンオフ企画を推奨し、事業化につなげる。定例会・勉強会も開催。	N6：Workcamp 町 コンサルタントを地域に配置。ワークキャンプ実施や住民の企画力育成、地域戦略作り。企業・大学にも配置。
O6：課題解決型オンライン事業 テーマや地域別に課題を解決するための活動の企画立案～実行・検証までを、プロジェクトとしてプログラム化	N8：交流 アイスブレイクを含め、交流の場を提供。リアルでのつながりを求めている層が対象。年に 10 回企画。
N1：国際開発協力 スラム自立支援、学校建設、森林再生等を丸ごと担う本格事業をアジアの NGO と展開。外務省の補助金等を活用。	J1：成果主体のサイクル確立 SDGs を軸に計画～発信。成果を可視化、地域長期目標と連動。参加者・寄付・共催を増や、成果を向上させる。
N4：寄付・物産振興 国内共催団体の販売品を協賛金付に。また事業毎の寄付をボランティアと同様に広く募り、特産品を返礼に。	J6：SNS と Web で発信強化 Youtube で地域・文化の魅力と課題を海外向けに英語で発信。国際ボランティア等のポータルサイトの作成と運用。

これ以外の 9 つは「保留プラン」となり、条件を満たすまで手を付けないことになりました。

O4：World Cooking 各国のワークキャンプ開催地とつなぎ、住民に料理を教わって食べたり話したりの交流。3,000 円×月 4 回を想定。	N11：着地型観光との連携 旅行会社や行政と連携し、国内共催団体を紹介。エコツアーや文化体験、農作業等のコンテンツ提供と運営。
O5：世界中に友達作ろう！ NICE と海外団体がそれぞれ参加者を集め、世代・性別・趣味等を基にマッチング。メールや zoom で自由に交流。	N12：就職支援事業 国内開催地等にある企業や農林水産業に、会員、移住希望者、外国人等を紹介。研修として中長期ボラも実施。
N7：研修 安全ワークショップ、ケーススタディ等で、海外渡航者への事前研修を実施。ボランティア参加にもつなげる。	J2：世界半数・全県開催達成 コロナ後に、太平洋・西アジア・中南米等で積極開拓。開拓専門ばらいやーを募り、未開催国の提携 NGO を発掘。
N9：NICE コミュニティ・ファンド つながり・経験を活かし、寄付で基金を作って日本・世界各地を資金支援。助成型と融資型。休眠預金も狙う。	J4：週末 Workcamp 収益化 既存事業の参加費を値上げ。年間を通して成果が見えやすく工夫、継続参加につなげる（例：田植え→稲刈り）
N10：マッチング Platform 普段から人手がほしい地域と、手伝いたい人をオンラインで縁組み。既存の開催地と NICE 会員のみが使える。	

歓迎・保留プランの詳細は、[こちら](#)。

<アンケート結果：各ステイクホルダーが選んだトップ 5>

	理事・職員第 2 回	聞き取り総合	現会員	元会員	理事・職員	共催
1	Online Work	親子/キッズ	親子/キッズ	親子/キッズ	親子/キッズ	農林水産業応援
2	親子/ SNS と	農林水産業応援	農林水産業応援	NICE SNS と	世界半数	着地型観光
3	キッズ Web	企業連携強化	限界集落再生	学校 Web	ワーキ	企業連携強化
4	企業連携強化	限界集落再生	成果主体サイクル	マッチング PF	ャン町	マッチング PF
5	限界集落再生	SNS と Web	課題解決型 OL	着地型観光	限界集	親子/キッズ
	-	-	-	-	落再生	-
					Web	

1) 主幹事業 1 国際（短期）ワークキャンプの主催

1-1) 2020 年の 5 大ニュース

[目次に戻る](#)



- ① コロナ禍で事業 63%減・日本人 68%減・外国人 83%減。4 月以降の日本⇔海外はゼロに。
- ② 夏秋の国内事業は半数を実施。比較的作業ニーズが高く、地域の拒否感が低めの事業が中心。
- ③ 夏秋の国内事業は公用語が日本語となったが、参加者の充足率・満足度や地域の成果は良好。
- ④ 案内書類や事前研修のオンライン化が進み、海外提携団体との中継もオンラインで実施。
- ⑤ 事業減もあり、リーダーが余る事態に。国内参加推進チームが発足し、合宿しながら活躍。

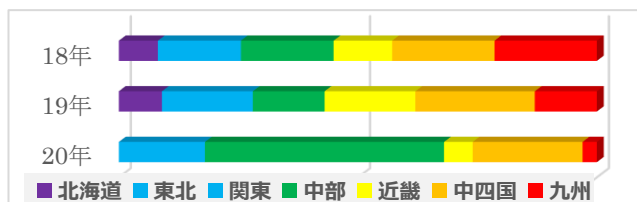
1-2) 全体の各種統計（事業数・参加者数・地域比・分野比等）



	事業数					日本人					外国人				
	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20
国内一般	73	77	87	76	34	313	305	302	294	129	334	380	369	350	57
国内グル	5	9	4	3	1	16	48	12	15	1	55	70	38	21	14
海外一般	69	65	75	80	23	275	339	400	451	108	107	50	36	54	11
海外グル	12	12	15	16	6	130	140	187	201	67	11	1	5	2	7
(計)	159	163	181	175	64	1098	1200	1274	1297	316	704	723	667	601	89

< 開催地域 >

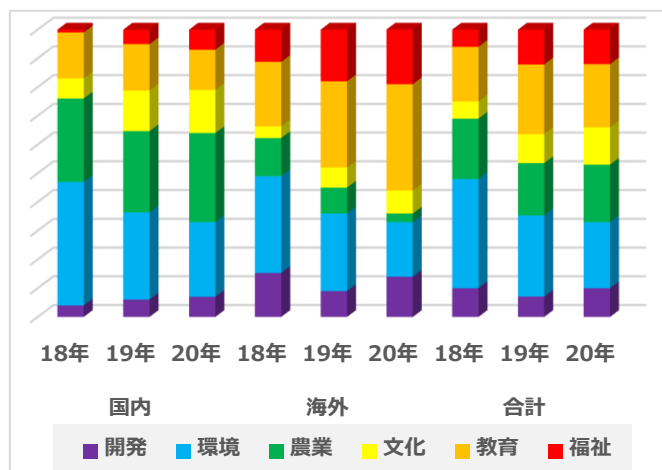
	北海道	東北	関東	中部	近畿	中四国	九州
18 年	8%	13%	4%	19%	12%	21%	21%
19 年	9%	11%	8%	15%	19%	25%	13%
20 年	0%	15%	3%	50%	6%	23%	3%



	欧州	アフリカ	アジア	北米	中南米
18 年	5%	4%	87%	0%	1%
19 年	4%	2%	92%	0%	2%
20 年	4%	0%	96%	0%	0%

< 活動分野 >

		開発	環境	農業	文化	教育	福祉
国内	18 年	4%	43%	29%	7%	16%	1%
	19 年	6%	30%	28%	14%	16%	5%
	20 年	7%	26%	31%	15%	14%	7%
海外	18 年	15%	33%	13%	4%	22%	11%
	19 年	9%	27%	9%	7%	30%	18%
	20 年	14%	19%	3%	8%	37%	19%
合計	18 年	10%	38%	21%	6%	19%	6%
	19 年	7%	28%	18%	10%	24%	12%
	20 年	10%	23%	20%	13%	22%	12%



< 参加者の内訳 >

	外国人			日本人		
	女性	学生	年齢	女性	学生	年齢
17 年	67%	50%	26	63%	88%	20
18 年	64%	42%	29	65%	88%	21
20 年	64%	67%	23	65%	87%	21

< 外国人の国籍（世界中への一般公募分） >

	18 年	19 年	20 年
1	↑ロシア 39	ベトナム 40	中国 5
2	↑メキシコ 32	ロシア 37	ロシア 4
3	↑香港 32	香港 29	スイス 3
4	→台湾 20	メキシコ 26	インドネシア 2
5	↑フランス 19	スペイン 22	ベトナム 2

1-3) 国内開催分 (20ヶ所・34事業。グループ・ワークキャンプ除く一般事業)

事業名	開催地	開始	終了	主なワーク	共催団体
大土 1	石川県加賀市	01/29	02/06	伝統建築保全地区での雪かき、文化交流	VYA/自然体験おおづち村
赤目 1	三重県名張市	01/30	02/07	里山で雑木林の間伐、草刈り	VYA/赤目の里山を育てる会
御所 1	奈良県御所市	01/30	02/07	耕作放棄地の手入れ、有機農業お手伝い	VYA/杉浦農園
石巻 1	宮城県石巻市	02/18	02/25	震災後の憩いの場で、竹林整備と寺子屋	川の上プロジェクト
氷見	富山県氷見市	02/20	03/19	地域の特産品製造補佐、自然栽培農業	氷見里山くらぶ
伊方	愛媛県伊方町	02/23	03/12	人手不足のみかん園で、収穫・整備	喜久家
湯ノ岳 1	福島県いわき市	02/25	03/05	栗園跡地再生や散策路整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
えらぶ 1	鹿児島県和泊町	03/01	03/14	離島で人手不足の農家で菊収穫・出荷	長田農園
赤目 2	三重県名張市	03/02	03/16	里山で雑木林の間伐、草刈り	赤目の里山を育てる会
大土 2	石川県加賀市	03/14	03/27	子ども英語キャンプを運営。農作業	自然体験おおづち村
徳島 L1	徳島県徳島市	03/14	03/29	とくしま花ロードの水やり、草抜き	びざん大学
徳島 L2	徳島県徳島市	03/24	03/31	とくしま花ロードの水やり、草抜き	びざん大学
白神 2	青森県平内町	06/18	06/29	世界遺産や帆立を守る、植樹祭手伝い	白神山地を守る会
赤目 5	三重県名張市	06/19	06/25	里山で鶏小屋の修理。ぼらいやー事前研修	赤目の里山を育てる会
徳島 2	徳島県徳島市	07/18	07/27	阿波人形浄瑠璃舞台のサポート	びざん大学
勝山 1	福井県勝山市	07/23	07/29	古民家や耕作放棄地の再生、薪割り	小原 ECO プロジェクト。勝山市
今庄 1	福井県南越前町	07/30	08/12	小菊の収穫と出荷。菊を使った観光発案	ぶらすたいむず
赤目 3	三重県名張市	08/01	08/08	ナショナルトラストの里山整備	VYA。赤目の里山を育てる会
栃木 Youth	栃木県益子町	08/05	08/14	荒れた里山や森整備、自然イベント運営	トチギ環境未来基地
白神 3	青森県鰺ヶ沢町	08/06	08/18	子ども自然キャンプの運営補佐	白神山地を守る会
大井 1	徳島県阿南市	08/07	08/13	遍路の周辺集落で農業支援、集落再生	アサギマダラ広域文化保存会
赤目 4	三重県名張市	08/08	08/18	里山整備と子どもキャンプ運営手伝い	赤目の里山を育てる会
鴨島 2	徳島県鴨島町	08/16	08/25	児童館で、夏祭り企画や子どもと遊び	吉野川市立鴨島児童館
大土 4	石川県加賀市	08/17	08/23	限界集落で耕作放棄地再生、地域づくり	自然体験おおづち村
真木 F	長野県小谷村	08/20	08/26	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎・真木農場
勝山 2	福井県勝山市	08/24	08/30	古民家再生、お祭りの準備・運営	小原 ECO プロジェクト。勝山市
湯ノ岳 2	福島県いわき市	08/26	09/04	栗園跡地再生や散策路整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
神山	徳島県神山町	09/01	09/20	すだちの収穫出荷。海外に情報発信	びざん大学
小代	兵庫県香美町	09/02	09/08	棚田の稲刈り。観光看板作り	小代観光協会
大土 3	石川県加賀市	09/09	09/22	農作業、稲刈り、(キッズキャンプ)	自然体験おおづち村
今庄 2	福井県南越前町	09/12	09/18	獣害対策の柵の設置、柿の圃場の整備	一般社団法人ぶらすたいむず
立屋	長野県小谷村	09/22	10/03	生活共同体で、有機農業や生活補佐	共働学舎・立屋農場
真木	長野県小谷村	10/14	10/25	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎・真木農場
鴨島 3	徳島県鴨島町	12/13	12/28	児童館のクリスマスイベントサポート	吉野川市立鴨島児童館

開発

環境

農業

文化

教育

福祉

<参加者の声①>

- ◆活動場所：石川県加賀市大土
- ◆活動期間：08/17-08/25
- ◆活動内容：限界集落で耕作放棄地再生

ワークでは薪割りを経験したり、耕運機、鍬で畑をたがやしたりしました。他にもわさびの収穫をしたり、竹を切って流しそうめん作りをしたり、よもぎ団子を地域の叔母様たちが教えてくれたり、様々な活動をした。このボランティアで得たものはすごく多くノボさんがこの村を残すために活動している事、自分たちにも発信できることはたくさんあるなと思った。何かのご縁で出会ったので何か自分にできること例えば友人に勧めてみる、インスタで発信するなど様々だ。

また、ボランティアのメンバー皆と話をしていると自分と違った考えを持っていてすごく刺激になった。将来の自分への何かヒントになったと思う。得られるものが沢山あり、勉強になった。



<参加者の声②>

- ◆活動場所：福島県いわき市湯ノ岳
- ◆活動期間：08/26-09/04
- ◆活動内容：栗園跡地再生や散策路整備

ワークを行う湯ノ岳山荘は山の中にあり、とても気持ちのいいところだった。基本のワークは竹や木を切る伐採作業だった。最初ワークを始めた時には木が生い茂っていて周りが見えなかったが、最後にはすべて伐採することができ広々とした広場を作ることができて、とても達成感が生まれた。他にも農作業を行い、人生で初めての種まきや畑を耕す作業をして、貴重な体験できた。

今回のワークキャンプは毎日が楽しく、様々なことを学ぶことができたワークキャンプだった。自然に対する地域の方と一緒にワークをした仲間の考えを聞いたり、一緒にワークをすることで、自然や環境に対して深く理解することができた。

1-4) 海外開催分 (9ヶ国・23事業。グループ・ワークキャンプ除く一般事業)

国	開始	終了	主なワーク	共催団体
スリランカ	01/11	01/24	内戦による遺族のカバン作りを補佐	Green Volunteers for Green Future
モンゴル	01/12	01/23	学校で、英語・日本語教育や文化活動	Mongolian workCamps Exchange
ネパール	02/01	02/14	被災地で公民館の再建や学校で教育	Friendship Foundation Nepal
インドネシア	02/06	02/19	観光資源の発掘、子へ英語・環境教育	GREAT
モンゴル	02/08	02/21	学校で、英語・日本語教育や文化活動	Mongolian workCamps Exchange
ラオス	02/09	02/22	公民館の建設。文化交流や環境教育	Phoudindaeng Youth Center. VT
マレーシア	02/09	02/22	老人ホームで、お年寄りや芸術や園芸	MOVE
カンボジア	02/10	02/22	自然と暮らしを守る、マングローブ保全	Cambodia Youth Action
インドネシア	02/11	02/24	世界遺産の村で、文化遺産保護活動	Indonesia International Work Camp
ネパール	02/15	02/28	被災地で公民館の再建や学校で教育	Friendship Foundation Nepal
マレーシア	02/16	02/29	養護学校で、知的障がい児と活動や交流	MOVE
フィリピン	02/18	02/27	小学校で異文化理解授業運営、文化交流	Global Initiative for Exchange & Development
マレーシア	02/23	03/07	難民等の子ども達に、教育・環境整備	MOVE
カンボジア	02/24	03/07	自然と暮らしを守る、マングローブ保全	Cambodia Youth Action
インドネシア	02/25	03/09	売春宿街で、子どもの遊びを企画	Indonesia International Work Camp
エストニア	02/26	03/08	エコ農場で新仕事。文化紹介。催し補佐	EST-YES
インドネシア	02/28	03/12	川清掃、環境教育、ハンディクラフト	GREAT
ネパール	03/01	03/14	被災地で公民館の再建や学校で教育	Friendship Foundation Nepal
マレーシア	03/01	03/14	老人ホームで、お年寄りや芸術や園芸	MOVE
カンボジア	03/01	03/14	放課後学習センターで、英語授業を運営	Cambodia Youth Action
マレーシア	03/07	03/20	親を失った孫達を養う、古い家の修理	MOVE
カンボジア	03/09	03/21	自然と暮らしを守る、マングローブ保全	Cambodia Youth Action
インドネシア	03/10	03/23	海岸でマングローブ林再生、商品開発も	GREAT, NVDA

<参加者の声③>

- ◆活動場所：インドネシア・Tegal Rejo
- ◆活動期間：02/25-03/03
- ◆活動内容：売春街で暮らす子達と交流



毎日、色んなことを考える機会を与えてくれた活動だった。初めての訪問時は中指を突き立てたり、どなったりする子ども達もいて遊び続けることすら大変だった。しかし訪問を続けている間に心を開いてくれる子が増え、ふとした所に純粋さや心優しさを見せる場面が増えて、本当に来てよかったと思った。

「ボランティアの言葉1つ1つが子ども達の心に刺さり、将来にまで影響を与える。」というリーダーの言葉に、本当にその通りだと思った。言葉が通じなくても「すごい!」とか「上手い!」とかリアクションは十分に伝わる。私たちがいたのは一時的だったが、そういう意味では持続的かもしれない。

<参加者の声④>

- ◆活動場所：マレーシア・YCK
- ◆活動期間：02/23-03/06
- ◆活動内容：難民等の子ども達に、教育・環境整備



行ってよかった理由は、大きく分けて3つ。1つ目はNGOのシステムを少し理解できたこと。将来難民の子ども達に関わる仕事をしたい私にとって、すごく貴重な情報を得ることができた。

2つ目は子ども達との交流が十分にできて色々考えたこと。様々な背景をもつ子ども達が無邪気に明るく接してくれたことに驚いたし、純粋に慕ってくれたことが嬉しかった。この先どんな大人になるのか、幸せに健康に育つことを願う毎日だった。

3つ目は意外な程「文化に触れる」魅力に気が付いたこと。ホテルで寝泊まりしていたら分からないような現地スタイルの生活ができて、もっと他の文化にも触れてみたいと強く思った。

1-5) 2030年の5大目標と、2021年のステップ

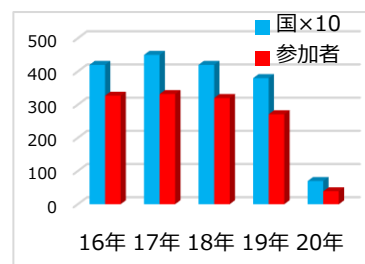
2030年の目標	21年の目標
①(開催地域・国の拡大) 国内：全国8割(38都道府県)で開催 / 海外：未開拓5ヶ国で新規開催	国内：未開催県で開拓。海外：開催も厳しいので、開拓は凍結。
②(参加者の多様化) A. 親子・シニア・中高生の参加者の増加 B. 在日外国人・社会的不利な方の参加推進。	A. 親子30名、中高生30名、シニア5名に増加。B. 不利な人3名、在日外国人10名が参加。
③(事業の多様化) A. 未リーチ分野・テーマの事業開拓 B. 専門性を生かした事業の実施	子ども Workcamp や海外とのオンライン Workcamp を開始。新事業で新種の事業を開催。
④(過去参加者の巻き込み) 各事業の縦のつながりづくり。応援人制度で事業の安定化!	国内推進チームと連携を発展。経験者100人が寄付やオンライン参加。
⑤(成果のまとめ・発信) 各事業の活動報告の充実化! 報告会+新規開催説明会の連動	一覧表から全事業の報告・寄付募集を紹介。地域目標と成果を全事業で紹介。成果紹介動画を作成。

2) 主幹事業2 国際（短期）ワークキャンプの派遣

2-1) 2020 年の 2 大ニュース

[目次に戻る](#)

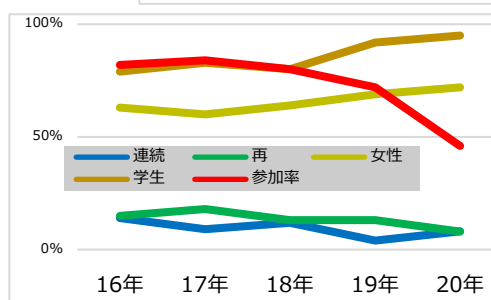
- ① コロナ禍で、参加者数は昨年の 336 人から 39 人に 88%減。
② 4 月以降はゼロでお手上げ。それでも 3 月までは成果が色々あり！



2-2) 全体の各種統計（事業数・参加者数・地域比・分野比等）

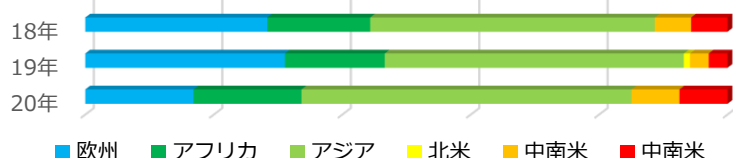
	国数	参加者	連続	再	女性	学生	年齢	参加率
16 年	42	327	14%	15%	63%	79%	23.1	82%
17 年	45	332	9%	18%	60%	83%	21.9	84%
18 年	42	320	12%	13%	64%	80%	21.8	80%
19 年	38	271	4%	13%	69%	92%	20.1	72%
20 年	7	39	8%	8%	72%	95%	20.6	46%

* 連続 = 3 ヶ月以内に続けての参加。再 = 再参加。参加率 = 参加者 / 申込者



< 活動地域・国（トップ5） >

	欧州	アフリカ	アジア	北米	中南米
18 年	30%	17%	47%	0%	6%
19 年	32%	16%	48%	1%	3%
20 年	18%	18%	55%	0%	8%



18 年		19 年		20 年	
ベトナム	49	ベトナム	36	カンボジア	10
アイスランド	38	カンボジア	36	アイスランド	7
タンザニア	35	アイスランド	33	タンザニア	6
カンボジア	29	タンザニア	20	ベトナム	6
ドイツ	17	ドイツ、タイ	17	メキシコ	3



2-3) 2030 年の 5 大目標と、2021 年のステップ

2030 年の目標	21 年の目標
①（事業の量的拡大） 70 ヶ国に年間 500 人を全都道府県から派遣！通算で 30 年に存在する全団体派遣達成。	コロナ次第。短期海外主催と合わせ、10/ 30/ 50 人の 3 パターン。オンライン派遣も開始？
②（成果：個人の成長） NICE×ワークキャンプ×成長が、世間で注目される。	今までの参加レポートを集計し、成果発信。
③（成果：社会の改善） チームから社会課題に取り組む団体設立。	SDGs に沿った成果集め（主催事業より多彩な分野で内容充実に寄与）
④（ボランティアの多様化） 年間で高校生 30 名、シニア 30 名、障がい者 10 名、参加者平均 25 才、学生 70%	まずは派遣再開！
⑤（質の向上） 全国で事前事後研修を実施。世界各地での活動が、次のボランティアへ引き継がれる状態に。	オンライン完全移行。20 年参加者にも依頼。

3) 主幹事業3 週末（超短期）ワークキャンプの主催

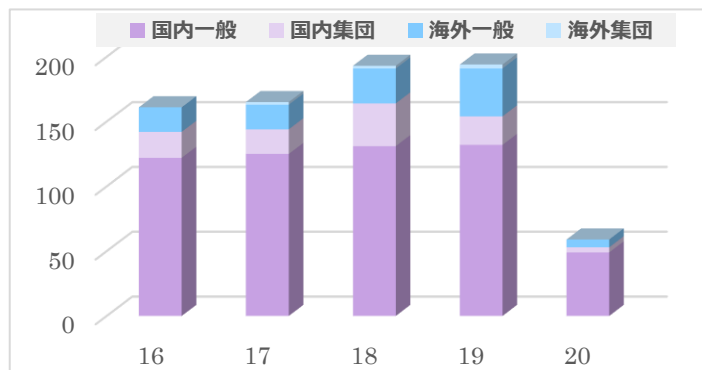
3-1) 2020 年の 3 大ニュース

[目次に戻る](#)

- ① ここでもコロナ禍で 1/3 に激減も、29 ヶ所で 54 回（4 月以降 32 回）を開催！
- ② 初のオンライン型を実現！また 30 周年効果もあり、岡上に親子が多数参加
- ③ 愛知県美浜町、三重県紀和町、長野県南木曽町などで初開催！

3-2) 事業数

	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
国内一般	122	125	131	132	50
国内グル	20	19	33	22	4
海外一般	19	19	27	37	6
海外グル	0	2	2	3	0
合計	161	165	193	194	60



3-3) 国内開催分（29 ヶ所・54 事業）

事業名	開催地	開始	終了	回数	主なワーク	共催団体
富田林	大阪府富田林市	01/11	01/12	8 回	里山の保全。どんと焼き	富田林の自然を守る会
HBF	愛知県美浜町	01/18	01/19	5 回	「遊べる農園」づくり	HAPPY BABY FARM
つくば	茨城県つくば市	01/18	01/19		炭焼き & 森林アート & スローフード	自然薯クラブ
トチギ	栃木県栃木市	01/25	01/26	2 回	荒れた里山や森整備	トチギ環境未来基地
南丹	京都府南丹市	01/25	01/26	2 回	雪灯廊イベントの運営補佐	京都美山かやぶきの里
高根	岐阜県高山市	01/31	02/02		高根雪合戦ワーク	高山市高根町
日の出	東京都日の出町	02/06	02/07		古民家整備、農作業	日の出太陽の家
西和賀	岩手県西和賀郡	02/09	02/11		老人宅の雪かき、雪あかり制作	西和賀町
南砺	富山県南砺市	02/12	02/15	4 回	雪かき	もよもんプロジェクト
加西	兵庫県加西市	02/15	02/16		日本ミツバチの巣箱づくり & 里山整備	播磨∞若者サミット Next Lab
ゆずりは	愛知県田原市	02/15	02/16		里山の整備や生徒との交流	ゆずりは学園
和束	京都府和束町	02/15	02/16		「茶源郷和束“満喫”イベント」の運営	和束有機栽培茶業研究会
岡上	神奈川県川崎市	02/22	02/23	2 回	森のわくわく小屋作りや炭循環法	かわさき自然と共生の会
難民	神奈川県横浜市	02/29	03/01		難民の方と庭仕事や話し合い	WELgee
裾野	静岡県裾野市	03/14	03/15		里山保全活動	里山会公文名ファイブ
玉城	三重県玉城町	03/14	03/15		「水辺の楽校」の除草	玉城町役場
徳島	徳島県徳島市	03/24	03/29		花ロードの手入れなど	びざん大学
オンライン	オンライン	05/29	05/30		各自で自家菜園。開澤講演	-
御所	奈良県御所市	06/27	06/28		有機農業のサポート	杉浦農園
御殿場	静岡県御殿場市	07/18	07/19		福祉施設的环境整備	国立青少年交流の家
勝山	福井県勝山市	07/23	07/26	2 回	古民家や耕作放棄地の再生、薪割り	小原エコプロジェクト
紀和	三重県紀和町	08/01	08/02		キャンプ場整備とお寺のお掃除	キャンプ場
赤目	三重県名張市	08/04	08/08	2 回	ナショナルトラストの里山整備	赤目の里山を育てる会
鴨島	徳島県鴨島町	08/16	08/20	3 回	児童館の夏まつりサポート	びざん大学
真木	長野県小谷村	08/20	08/23	2 回	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎・真木農場
立屋	長野県小谷村	09/22	09/27	2 回	生活共同体で、有機農業や生活補佐	共働学舎・立屋農場
妻籠宿	長野県南木曽町	10/31	11/01		中山道トレイル整備	妻籠を愛する会
大土	石川県加賀市	11/21	11/23		伝統建築の山村で薪割り & 冬仕度	自然体験おおづち村
丸子	静岡県静岡市	12/27	-		歩道の看板・ベンチ作り	地元の有志グループ

* 短期ワークキャンプへの部分参加やプレ・ワークキャンプも含む。複数回開催した場合は、初回の期間のみ記載

* 他にも、NICE ハウスでの合宿等、多数類似の活動あり。

< 幾つかのプロジェクトを紹介！ >

オンライン週末ワークキャンプ

代表開澤のNICE 立ち上げトーク、
日中はそれぞれワークし共有。
夜は元職員がトークライブ、翌日は
ワークショップ。



富山県・五箇山でも開始！

ピカピカの秋空の下、伝統野菜の
赤かぶ収穫と出荷作業(洗って切って
束ねる)。紅葉と赤かぶの赤が映える
週末でした！



岡上週末ワークキャンプ

30 周年イベント効果で会員経験者
が多数参加！2 月は 7 家族（子 15）
を含む 32 人が参加。11 月は 10 家
族（子 18）を含む 51 人が参加！



3-4) 海外開催分（3ヶ国・6事業）

国	開始	終了	主なワーク	共催団体
モンゴル	02/08	02/12	学校で、英語・日本語教育や文化活動	Mongolian workCamps Exchange
カンボジア	02/10	02/15	漁村で生態系保全のマングローブ植林	Cambodia Youth Action
インドネシア	02/20	02/24	マングローブの植林。商品開発。	GREAT
カンボジア	02/24	02/29	漁村で生態系保全のマングローブ植林	Cambodia Youth Action
インドネシア	02/25	02/29	マングローブの植林。商品開発。	GREAT
カンボジア	03/09	03/14	漁村で生態系保全のマングローブ植林	Cambodia Youth Action

* 今年は全て短期ワークキャンプの部分参加)



4) 主幹事業 4 中長期ボランティアの主催・派遣

4-1) 2020 年の 3 大ニュース

[目次に戻る](#)

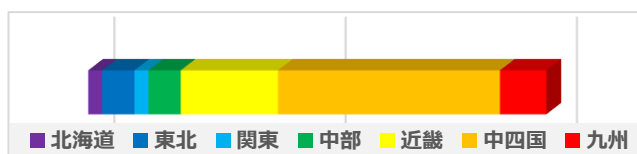
- ① 事業：コロナ禍で事業 45%減・日本人 60%減（国内個人 733%に！派遣 74%減）・外国人 82%減。
国内事業は 24 名の日本人が参加。コロナ禍だが、Jcoin 基金助成事業で 4 地域 5 名が参加・活躍！
- ② 事業：グローバルインターンとして、地域インターンが復活。2 名が徳島と益子にそれぞれ参加。
益子では、活動期間後も現地に残り、地域に貢献！
- ③ 連携：GLMTV（中長期ボランティア世界会議）NICE から開澤が運営で参加！
42 ヶ国の 55 団体から 73 名が参加。

4-2) 全体の各種統計（事業数・参加者数・地域比・分野比等）

	事業数					日本人					外国人				
	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20
国内個人	42	24	41	45	28	2	2	2	3	22	42	23	44	48	11
国内集団	8	10	8	5	1	11	5	5	6	4	29	16	18	12	0
海外個人	4	3	3	2	1	20	33	27	31	5	1	1	1	0	0
海外集団	0	0	4	3	0	3	12	6	2	0	0	0	0	0	0
海外派遣	-	-	-	-	-	93	91	102	97	25	-	-	-	-	-
(計)	54	37	56	55	30	129	143	142	139	56	72	40	63	60	11

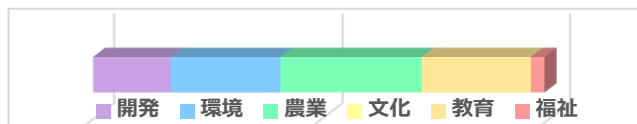
< 開催地域（事業数ベース） >

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中四国	九州
20 年	3%	7%	3%	7%	21%	48%	10%



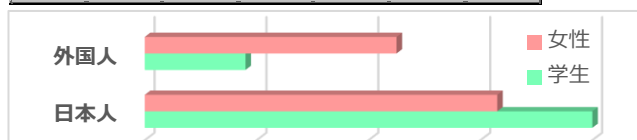
< 活動分野（事業数ベース） >

	開発	環境	農業	文化	教育	福祉
20 年	17%	24%	31%	0%	24%	3%



< 参加者の内訳 >

	外国人			日本人		
	女性	学生	年齢	女性	学生	年齢
20 年	45%	18%	25	63%	80%	23

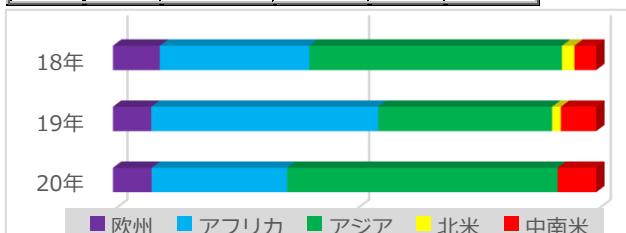


< 国内事業参加者の国籍 >

	18 年	19 年	20 年
1	→ロシア 17	→ロシア 14	日本 26
2	↑フランス 13	→フランス 12	ベルギー 3
3	↓ベトナム 9	↑ドイツ 6	ロシア 2
4	→ドイツ 6	↑ベルギー 6	ドイツ 2
5	↑イタリア 5	↑香港 3	多数 1

< 日本からの活動地域・国（トップ 5） >

	欧州	アフリカ	アジア	北米	中南米
18 年	10%	31%	52%	3%	5%
19 年	8%	47%	36%	2%	7%
20 年	8%	28%	56%	0%	8%



18 年	19 年	20 年
ウガンダ 25	ケニア 27	フィリピン 4
インドネシア 23	タンザニア 26	ウガンダ 4
フィリピン 17	ウガンダ 17	タンザニア 2
タンザニア 13	フィリピン 13	インドネシア 2
ネパール 11	インドネシア 12	他 3 ヶ国 2

4-3) 主催事業（全て国内で16ヶ所・29事業に37人）

開催地	開始	終了	事	人	主なワーク	共催団体
北海道新得町	02/17	05/10	-	-	生活共同体で、有機農業や牧場の整備	共働学舎新得農場
福島県鮫川村	03/01	04/06	-	-	有機農業。子ども・家族イベント補佐	あぶくまエヌエスネット
福島県いわき市	10/12	12/25	-	2	栗園跡地の再生や歩道整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
栃木県益子町	05/20	09/30	-	-	荒れた里山や森整備、自然イベント運営	トチギ環境未来基地
石川県加賀市	11/01	12/25	-	-	薬草園の開墾・整備。漆芸品展示の補助	クンストハウス東谷工房
長野県小谷村	05/26	11/15	-	-	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎真木
三重県名張市	03/16	04/04	2	3	里山保全。キクラゲ栽培や養鶏補佐も	赤目の里を育てる会
奈良県御所市	01/25	04/16	3	3	耕作放棄された棚田等を有機農業で再生	杉浦農園
京都府和束町	03/21	04/16	-	-	耕作放棄地となった茶畑の再生	ええ〜和茶
島根県大田市	02/01	02/28	-	-	外に出にくい若者たちへの支援	緑と水の連絡会議
徳島県徳島市	01/25	02/25	5	8	花ロードの維持・管理とイベント補佐	びざん大学
徳島県徳島市	01/13	03/20	6	6	小学校や幼稚園での国際文化交流を補佐	びざん大学
徳島県美馬市	08/20	09/20	-	-	世界農業遺産の地で、農作業と地域交流	横倉生活改善グループ
徳島県西部地方	10/06	12/25	-	-	農作業。高齢者のお手伝い。集落支援	びざん大学
福岡県八女市	09/28	10/31	2	5	耕作放棄地の進む伝統的な棚田で米作り	山村塾
熊本県水俣市	10/17	12/23	-	-	竹の間伐・炭作り。農作業。環境教育	植物自然の力

* 事：事業数（同じ場所でも時期が違えば別事業扱い）。人：参加者数。共に複数の場合のみ数字を記載

* 開始・終了は複数事業（複数期間）で行った場合は、一番早かったもののみ記載。

* 中長期ボランティアとして募集・活動開始したが、結果として31日間以下になった場合も含んでいます。

開発

環境

農業

文化

教育

福祉

<新型・長期個人ボランティア>

公益財団法人 パブリックリソース財団・J-Coin 基金からの助成で実現！全国5ヶ所で20年10～12月と21年1～3月に計15名募集。
福島県いわき市の湯ノ岳と、石川県加賀市の荒谷では、初めて中長期ボランティアを受入！

【福島県いわき市では】

年配の方が多い受入地域だが、若いボランティアが中長期的に滞在することで、受入グループの活性化にも成果を生んでいます。



<地域グローバルインターン>

オンライン研修を行い、以下の2ヶ所で第一期を開始。

【栃木県益子町では】

活動後も現地のインターンとして、なくてはならない存在に！地元でも里山保全に取り組むことに意欲を示す！

【徳島県徳島市では】

NICE と地域共催のクラウドファンドの運営において、広報サポートに尽力！

4-4) 海外への派遣 ～コロナ拡大前に、25 人が活躍！～

<ワンバ英海里さんの場合>

- ◆活動場所：ウガンダ
- ◆活動期間：02/04-03/02
- ◆活動内容：エイズ患者支援団体・学校でお手伝い

特に女性の支援に注力。家庭訪問などを精力的に行い、地域目線の活動を実施。帰国後もコロナ拡大で困窮した団体や地域の女性たちへの支援金を募るなど、活動中の経験と知識を生かして積極的に活動！



運営： コロナ渦でも、LAMP 運営委員（経験者で構成）が大活躍☆

対面での活動が難しくなる中、オンラインイベントを中心に活躍。オンライン説明会、Zoom 交流会、インスタ LIVE 等で、NICE・LAMP コミュニティを盛り上げました！



4-5) ぼらいやー（国際ボランティア1年間プログラム）

- ☆ 21 期生（2019 年 4 月～）、22 期生（同 10 月～）が無事活動終了！
22 期生は途中帰国に追い込まれたり、ロックダウンに遭遇するも無事帰国。事後研修はそれぞれ 2 ヶ月、8 ヶ月遅れで開催し、活動を終了。
- ☆ 23 期生（2020 年 4 月～）は 5 人、24 期生（同 10 月）は中止に。
23 期生は国内を中心に活躍中！
- ☆ 課題：コロナ禍を認識しつつも、海外志向の強いメンバーが海外へ渡航。
無事帰国したが、ぼらいやーの範疇を超えた行動となったかもしれない。

	人数	女性	社会人
16 年	19	53%	53%
17 年	32	72%	41%
18 年	26	62%	15%
19 年	31	58%	18%
20 年	5	80%	20%

4-6) 2030 年の 5 大目標と、2021 年のステップ

2030 年の目標		21 年の目標
① グローバルな社会課題(貧困、気候変動、難民等)やローカルな社会課題(教育の格差、人口流出等)の解決に強く寄与する。	1. 中長期専門職ワークキャンプを全国 15 ヶ所で展開	福井のあらわで教育に特化した事業を構築。
	2. 地方オフィス→共催型・独自運営型のモデル作り	候補地の可能性を探る(地域おこし協力隊との連携、徳島センターとの連携等)。
	3. 3 ヶ月間以上の長期ボランティア・ビザを創設	国内の国際ボランティア団体の協力網作り(まず該当する団体の情報を集める。)
	4. 活動実績の積み上げと 1,000 プログラムの紹介！	GLMTV (中長期ボランティア世界会議) で、事業増に向けて、海外の他の NGO と議論。
② 社会課題解決の人材輩出	1. 自由なキャリア選択へ、参加後の選択肢を明確化	国内参加者の運営委員を運用。
	2. 地域プロジェクトインターン、海外 NGO インターン等、企画の開発・推進。	国内で地域グローバルインターンを広げる。他事業との連動で、相乗効果を図る。
③ 多様なボランティアの参画・推進(障がい者・経済的不利・意思疎通が苦手な人も参画できる社会の実現)		NICE 全体として、経済的に不利な人のための「参加応援制度」の利用者を募り、運用！

5) 主幹事業5 グループ・ワークキャンプの主催

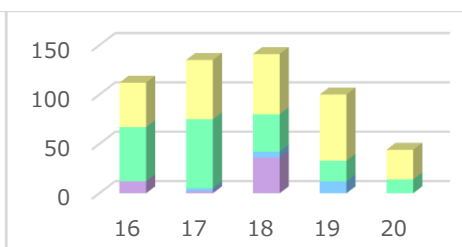
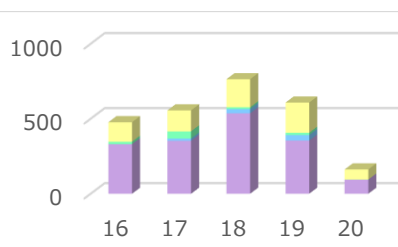
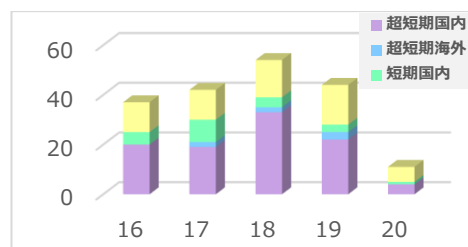
5-1) 2020 年の 5 大ニュース

[目次に戻る](#)

- ① コロナ禍で事業 75%減（国内 63%減・海外 20%減）。組織相手だと慎重さを増し、4 月以降はゼロ。
- ② 日本人 73%減（国内 76%減・海外 72%減）・外国人 56%減（国内 33%減・海外 62%減）。
- ③ シチズンとの連携により、腕時計ボックスがマングローブ 1 本になる「Eco Tree Action」の始動！
- ④ 30 周年祭でグル企画者会議を実施し、各団体の開催の手法やコツを共有、ネットワークの構築も◎
- ⑤ 理事の吉本がリーダーバンク 1 号として、創価大学とのミャンマー事業へ参加

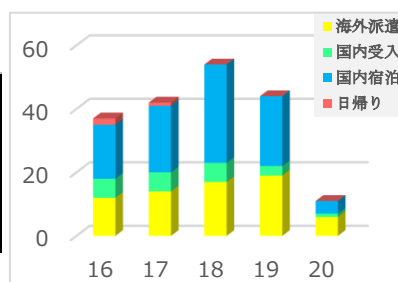
5-2) 全体の各種統計（事業数・参加者数・地域比・分野比等）

	事業数					日本人					外国人				
	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20
超短期国内	20	19	33	22	4	331	353	537	355	94	12	2	36	0	0
超短期海外	0	2	2	3	0	0	15	28	37	0	0	3	6	12	0
短期国内	5	9	4	3	1	16	48	12	15	1	55	70	38	21	14
短期海外	12	12	15	16	6	130	140	187	201	67	45	60	61	67	30
(計)	37	42	54	44	11	477	556	764	608	162	112	135	141	100	44



< 種類別の事業数 >

年	16	17	18	19	20
海外派遣	12	14	17	19	6
国内受入	6	6	6	3	1
国内宿泊	17	21	31	22	4
日帰り	2	1	0	0	0



< NTT 東日本 : 5 年連続共催 >

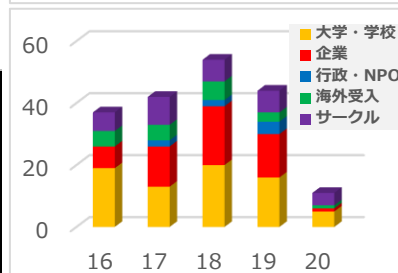
- 開催場所：岩手県西和賀町
- 開催期間：02/09-02/11
- 活動内容：雪あかり制作。老人宅の雪かき
- 受入団体：大野集落営農組合

総勢 35 名で、大野地区の公民館裏の敷地の雪明りをデザインから点灯まで実施。交流会では地域の未来を考える時間も。



< セクター別の事業数 >

年	16	17	18	19	20
大学・学校	19	13	20	16	5
企業	7	13	19	14	1
行政・NPO	0	2	2	4	0
海外受入	5	5	6	3	1
サークル	6	9	7	7	4



< 初の中国人グループの受入 ! >

- 開催場所：徳島県徳島市 ●開催期間：01/15-01/21
- 活動内容：花ロードの整備、川掃除 ●派遣/受入団体：DWC/びざん大学

ワークの中心となった「花ロード」の整備では、住民（学生や地元企業等）と協働で、花植えイベントに参加。幅広いコミュニティとの交流を行った。

<タイ、フランス、日本の3ヶ国グループ・ワークキャンプ>

- 開催場所：タイ Tamek ●開催期間：02/24-03/08
- 活動内容：自然環境保全や子どもと交流 ●受入団体：DALAA
- 派遣団体：Ruff（愛知県立大学国際ボランティアサークル）

貯水槽建設や川のダムづくり、苗木植え、子どもとの交流等を通じて地域の力となった。受入側からの評価も◎



<新しい提携の形！

Eco Tree ACTION>

カンボジアでマングローブ林を再生するグループ・ワークキャンプを3年間共催してきた、シチズン時計。現地での各種ワークキャンプを開催できない中、素晴らしい協力を開始しました！

腕時計購入時、ボックス不要を選択すると、NICEを通じてカンボジアのマングローブの苗1本を寄付されます。

5-3) 主催事業

開催地	開始	終了	主なワーク	共催団体（派遣/受入団体）
徳島県徳島市	01/15	01/21	花ロード整備、川清掃	DWC/NPO 法人びざん大学
栃木県栃木市	01/25	01/26	古民家整備、農作業等	名古屋外国語大学/金華山サポーターズ
ベトナム Mai Chau	02/05	02/13	トイレ建築や子どもとの交流	名古屋外国語大学/SJV
東京都日の出町	02/06	02/07	古民家整備、農作業等	文教大学/日の出太陽の家
インドネシア Java 島	02/06	02/19	売春宿街で衛生・健康啓蒙	euphoriaSC/IIWC
ミャンマー Payartaung	02/07	02/20	寺院で農作業や建設、教育	創価大学/COM
岩手県西和賀郡	02/09	02/11	老人宅の雪かき、雪あかり制作	NTT 東日本/大野集落営農組合
インドネシア Java 島	02/12	02/25	売春宿街で衛生・健康啓蒙	euphoriaSW/IIWC
富山県五箇山	02/12	02/15	雪かき	Rits BLOH/もよもんプロジェクト
タイ Tamek	02/24	03/08	自然環境保全や子どもと交流	Ruff/Dalaa
ミャンマー Payartaung	03/02	03/15	寺院で農作業や建設、教育	文教大学/COM

* 事：事業数（同じ場所でも時期が違えば別事業扱い）。人：参加者数。共に複数の場合のみ数字を記載

5-4) 2030 年の 5 大目標と、2021 年のステップ

2030 年の目標	21 年の目標
① 事業の質と量 ：各セクターの社会貢献活動への参画増加。年間 100 事業。参加者の質の向上&受入基盤の強化で地域貢献度・参加満足度の向上	コロナの状況を見ながら、少人数でコロナ対策のできる事業の再開
② 派遣団体の多様化 ：社会的に脆弱な人々がワークキャンプを通して社会に根をおろし、守られる存在ではなく社会を創る主体に（年間 4 事業）	引きこもり（新規）に実施に向けての可能性を探る
③ 海外からの受入 ：行政・企業連携で経済的に不利な立場の外国人招聘事業を実施。グローバルな機会格差を是正（年間 4 事業）	インバウンド事業に興味のありそうな企業・大学・行政のリサーチ

6) その他の事業・ネットワーク作り・外交

[目次に戻る](#)

6-1) 2020 年の 3 大ニュース

- ①海外：コロナ禍で国際ボランティア Movement が潰滅的な打撃。各協力網で生き残りを模索中。
- ②海外：8 月にアジアのネットワーク・NVDA の理事に 2 年ぶり、代表に 5 年ぶりに復帰し尽力中。
- ③国内：三菱 UFJ 銀行の寄付事業やシチズンの商品販売を通じた植林支援等、企業との連携が進んだ。

6-2) その他の事業 (1~5 でご紹介したもの以外の活動です。)

< 国士舘大学での授業 >

開澤が 2002 年より、3 種類の授業を運営。
4 月以降は実習以外は全てオンラインで実施。

- ① 国際ボランティア (国内でワークキャンプに参加する授業。20 年は 13 人が活動)
- ② ボランティアと社会 (毎週、ゲストの話や討論を行い、冬休みに自分達で活動を企画。20 年は 26 人がフリースクールや里山保全)
- ③ NPO マネジメント (NPO でインターンを行う授業。今年は 1 名が NICE で活動)

< 小中学校・高校での授業 >

杉並国際高校で、藤原が毎週木曜に継続。
ワークキャンプ中の学校訪問も数件あり。

< エコ・スポンジ・アクション >

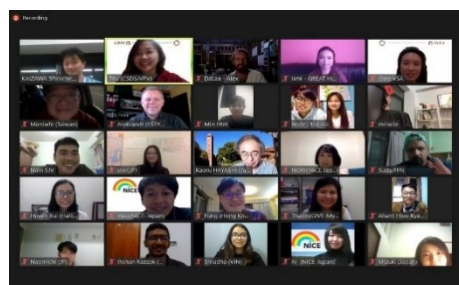
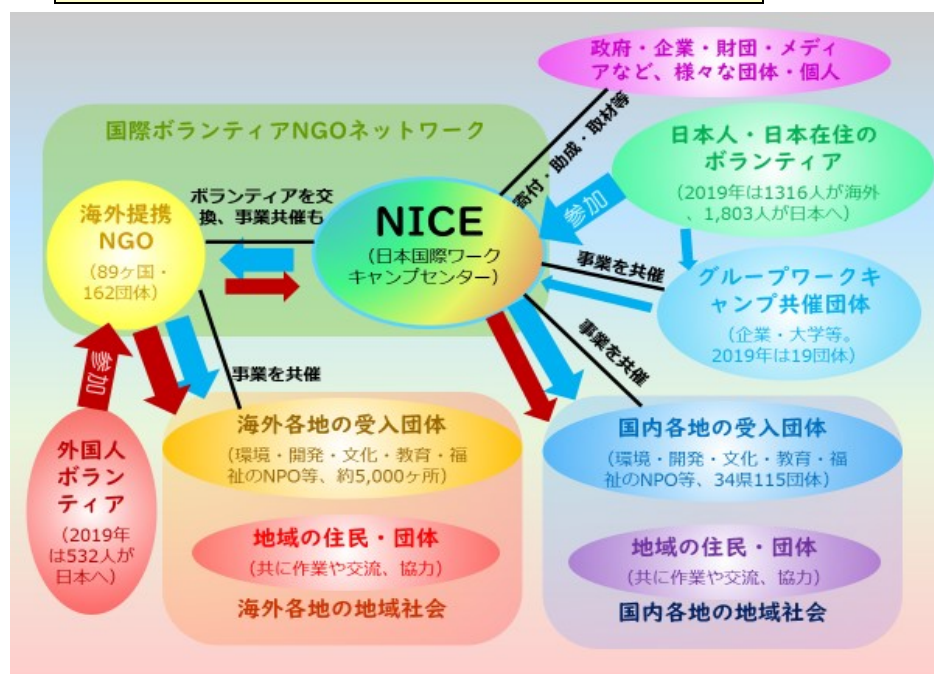
洗剤なしで皿などを洗えるアクリルたわしを世界で推進中。
2010 年からはベトナムのスラム女性支援も合わせた形で展開！
日本のお祭りや店等で販売。20 年はワークキャンプを開催できず。
21 年は寄付付のオンライン事業を構想中！



< IVS カーボン・オフセット >

国際ボランティア参加者が自分のフライトで排出する CO2 の一部を、SCC (気候変動防止事業) で代わりに削減してもらう。
20 年は 2-3 月にカンボジア、インドネシアで活動。4 月以降は海外では停止中だが、10-12 月に熊本県で実施。21 年の再開が待たれる！

6-3) NICE のネットワークを図解すると



【Pick up! NVDA の月例会】

NICE・開澤が発案し、開始しました。
毎月第 1 水曜の 20:30-22:00 に開催。
12/2 に開催した第 1 回の概要は、
●参加者：12 ヶ国・15 団体の 47 人
●内容：①世界の貧困状況クイズ。
②ネパール・台湾・ベトナムで SDGs 1 (貧困撲滅) に取り組む事業紹介。
③小グループで貧困を減らすためにできる共同アクションを企画。

6-4) 2020 年に企画（青網）・参加（赤網）した、主な国際会議

会議名	期間	場所	NICE からは	国/団体/数	主な内容
Go Teen キックオフ	01/07-01/13	スペイン Valencia	藤原、直井	8/ 8/ 20	高校生の共同事業を計画
ALLIANCE 技術会議	02/27-03/03	アルメニア Yerevan	開澤、藤原、梶田	35/59/110	事業広報。協力推進
CCIVS Day	03/03	アルメニア Yerevan	開澤、藤原、梶田	10/ 15/ 20	活動の企画と推進
NVDA 総会①	06/17	オンラインで開催	開澤、藤原	15/ 20/ 30	1 年間の総括・計画
NVDA 総会②	07/15	オンラインで開催	開澤、藤原	15/ 20/ 30	予算決定。作業部会報告
NVDA 総会③	08/19	オンラインで開催	開澤、藤原	15/ 20/ 30	定款変更。理事選挙
NVDA 総会④	08/27	オンラインで開催	開澤	15/ 20/ 30	財務庁を選任
NVDA 理事会	09/02-毎週	オンラインで開催	開澤	5/ 5/ 5	組織再建、活動企画
IVS 地球会議	09/03, 10/21	オンラインで開催	開澤	5/ 5/ 5	協力網同士の各種連携
SCI 年間交換会議	10/05-10/19	オンラインで開催	開澤	30/ 40/ 60	1 年間の総括・計画
LMTV 地球会議	10/14	オンラインで開催	開澤	42/ 55/ 73	質の向上。コロナ禍克服
LEG 環境会議	10/17	オンラインで開催	開澤	5/10/100	気候変動問題
ALLIANCE 総会	10/29-10/31	オンラインで開催	開澤	30/ 40/ 60	1 年間の総括・計画
NVDA 月例会	12/02	オンラインで開催	開澤、井口、藤原 吉本、佐藤、木持	12/ 15/ 47	SDGs の各目標への行動
CCIVS Online 対話	12/14-12/15	オンラインで開催	開澤?	30/ 50/ 60	2 年間の総括・計画

【NVDA 総会での理事選挙】

8/19 の第 3 回オンライン総会で実施。
NICE 退任後の低調な活動や大赤字への不
満、コロナ禍で苦しむ中での期待を受け、
NICE・開澤が立候補。現職は誰も立たず、
全 22 票のうち 2 位の 19 票を得て当選。
新理事会で全会一致で 5 年ぶりの代表に。

副代表のネパール VIN (Mr. Bhupi) と
ベトナム VPV (Ms. Thu)、事務局長のミ
ャンマー GIVE (Ms. Thazin)、財務長のタ
イ VSA (Ms. Gate) と共に、毎週会議を重
ねながら奮闘しています！



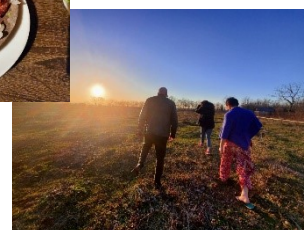
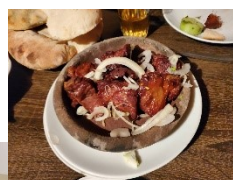
【中長期ボランティア世界会議】

2010 年から NICE が主導し、世界 6 大協力網で
共催する年に 1 度の会議。今年は 10/14 にオンラ
インで開催し、43 ヶ国から 82 人が参加。
「コロナ禍でも折れない、しなやかで強靱な活動
を創ろう」をテーマに、Zoom とグーグル・ジャム
ボードを使い、活発にアイデアを出し合いました☆

【ALLIANCE 技術会議とジョージア訪問】

国境間の移動ができなくなる、ギリギリ前の時期に開催。
例年より少ない 35 ヶ国から 110 名が参加。NICE は SDGs
地球アクションを企画するワークショップを提案し、運営。

会議後は、隣国のジョージアの NGO を職員 3 人で訪問。
絶品料理を堪能しつつ、ワークキャンプの共催にも合意！



6-5) 大学・高校との連携：21 大学・高校と提携！

校名	グルキャン共催	グローバル人材	単位・授業	出展	他
国土館大学			開澤が定期で 3 つ		
法政大学		主催事業に参加	単位提携	留学フェア	参加費補助
慶応大学	サークルがインドネシア				
嘉悦大学			開澤が講演		
千葉大学		主催・派遣参加	単位提携		
文教大学	ミャンマー		開澤が講演		
杉並総合高校			藤原が毎週		
創価大学	ミャンマー	提携	単位提携		
東洋大学			井口が講演 2 回		
中央大学			開澤が講演 2 回		
淑徳大学			直井が単発授業		
大正大学			直井が単発授業		
駒澤大学			直井が単発授業		
名古屋外国語大学	世界共生学部がベトナム				
愛知県立大学	サークル RUFF がタイ				
新潟青陵大学					1 月に説明会
大阪大谷大学					推進校提携
立命館大学	サークルが富山で				
京都産業大学				イベント	OL 説明会
関西大高等部			島山が OL 授業		
四国大学			島山が OL 授業		

(2020年7月16日 嘉悦大学)

参加者通算・81,523人+住民数百万人(1990年~2019年)

「国際ボランティア・ワークキャンプ」



NICE 特活)NICE(日本国際ワークキャンプセンター) 代表 開澤真一郎

いきなり、クイズです！

Q1. 国民のボランティア参加・寄付率

右は、日本、韓国、中国、米国、ロシア、オランダのいずれかです。日本はどこでしょう？

参加国	参加率	寄付率
A 4%	8%	5%
B 20%	31%	31%
C 21%	26%	26%
D 25%	75%	75%
E 37%	66%	66%
F 42%		

Q2. ボランティア活動が世界で始まったのはいつ？

Q3. 国際ボランティア活動が世界で始まったのはいつ、どこで、何を？

A. 1647年、英国(国を救った)

B. 1920年、フランス(戦争で壊れた土地を再建)

C. 1923年、日本(震災後に避難所を建設)

D. 1956年、モロッコ(独立後、国中に道路建設)

E. 1997年、中国(砂漠化防止のための植林)

Q4. 国際ボランティア活動がアジアで始まったのはどこで、誰と共に？

A. イスラエル(科学者のアイシュタイン)

B. 日本(前さきに有名な志本修先生！)

C. インド(非暴力運動のマハトマ・ガンジー)

D. 中国/チベット(ノーベル平和賞のダライラマ)

E. ベトナム(米大兵隊捕縛のサンダースが軍事中)

国際ワークキャンプ「ワーク」



- <開発>
 - 学校や診療所の建設
 - 村おこし活動に参加
 - 被災地の復旧・復興
- <福祉>
 - 児童虐待施設で遊び
 - 障がいの子と暮らす
 - 老人ホームで居住
- <環境>
 - 動物の保護
 - 森林、森の手入れ
 - 川や海の清掃
- <教育>
 - 子どもキャンプ施設
 - 学校で異文化交流
 - 職場や文化の体験
- <文化>
 - 文化遺産の守り継承
 - 祭りで出店や神輿担ぎ
 - 伝統の踊りに参加
- <農業>
 - 農産物の収穫
 - 共同で有機農業
 - 耕作放棄地の再生

平和で公正で持続可能な「カラフルでヘルシーな世の中」を目指して…!

6-6) 2030 年の 5 大目標と、2021 年のステップ

2030 年の目標	21 年の目標
① 海外 ：世界全体の国際ボランティア活動を発展させ、事業数・参加者数・成果を倍増☆	☆ 寄付事業、受入側会員制、国際開発協力等を開始。 ☆ NVDA 代表としてアジアの活動を救うために尽力。
② 海外 ：各分野の国連機関や多国籍メディア・企業と連携し、世界 IVS スキームを開始♪	SDGs への国際ボランティア活動の成果を集め・まとめ、ビデオを作って国連機関や企業と提携。
③ 政府 ：長期ワークキャンプでの連携事業や長期ボランティア・ビザの創設を実現！	様々な実績を示しながら、政府と交渉して「虹のニューディール」の実験事業を始める。
④ 企業 ：CSR・社員研修・本業での連携(交通等)を積み重ね、100 社の団体会員を獲得。	☆ 休業者を対象とした、長期ワークキャンプを共催！ ☆ 会員経験者の所属企業へ働きかけ、寄付事業を拡大。
⑤ 市民 ：一般に広げ、ワークキャンプを知っている人 1000 万人、参加した 10 万人に。	「国際ボランティア・応援人」への案内・紹介を開始。 国内外の著名人(スポーツ選手、歌手等)も 10 人確保。

7) 財務・決算

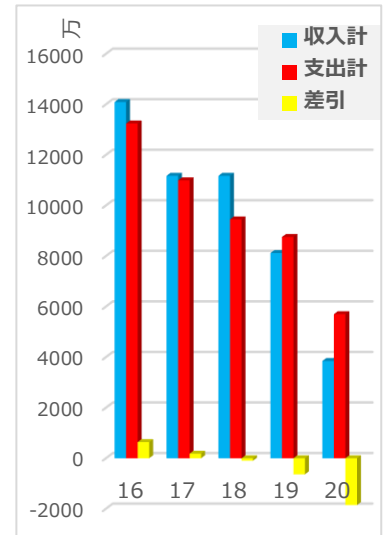
[目次に戻る](#)

7-1) 2020 年の 5 大ニュース

- ① 2019 年は参加者史上最多も、決算は - 636 万円 (29 年間で 4 回目の赤字)
- ② サバイバルキャンペーン、マンスリー、CF 等で 450 人から 642 万円の寄付
- ③ 国の補助金を獲得 (雇用調整助成金、持続化給付金、家賃支援給付金)
- ④ 助成金は対面事業では難しく落ち続けるも、J コインで 200 万円を獲得!
- ⑤ 経理担当が北村から太宰に交代。馬本が財務担当の副代表に就任

7-2) 2016~2020 年の決算

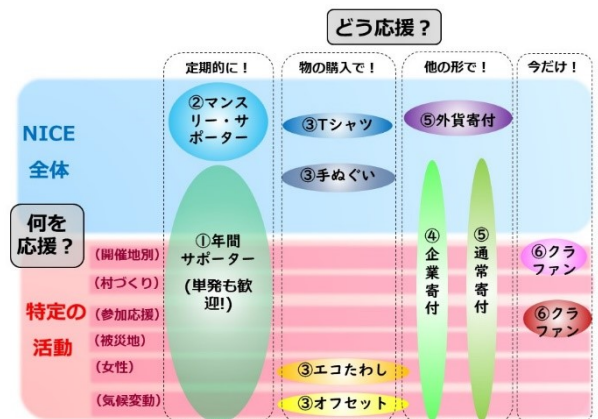
単位: 円	16	17	18	19	20
分担金	12,854,755	20,012,072	27,674,404	23,521,701	4,400,000
補助・助成金	4,294,900	2,307,690	3,720,233	900,000	16,275,520
寄付	69,873,534	35,052,689	5,979,312	573,629	3,575,000
活動収入	2,009,391	1,781,484	312,825	571,324	80,000
会費	51,879,784	52,578,489	55,801,182	55,618,970	14,140,000
収入計	140,912,364	111,732,424	111,732,424	81,185,624	38,470,520
人件費	45,352,341	47,103,439	47,589,396	42,754,597	36,885,000
他支出	87,065,931	62,826,448	46,883,219	44,795,456	20,115,000
支出計	132,418,272	109,929,887	94,472,615	87,550,053	57,000,000
差引	6,379,722	1,802,537	-984,659	-6,364,429	-18,529,480



- * 18 年までの寄付は大部分が、HSBC/ ドラゴン財団による大型寄付事業
- * 20 年は 8 月までの中間決算等を基に推計。21 年 3 月に判明する確定決算では、かなり変わる可能性あり。

7-3) 2020 年に頂いた寄付金 (一部概算含む)

寄付の種類	人数	寄付額	うち運営分
サバイバル・キャンペーン	81	1,378,632	1,200,000
マンスリー・サポーター	194	733,054	420,000
ジョンソンエンドジョンソン	-	300,000	300,000
三菱 UFJ 銀行	-	2,000,000	1,000,000
クラファン①・参加応援制度	61	419,580	0
クラファン②とくしま花ロード	114	1,584,000	655,000
合計	450	6,415,266	3,575,000



- * 運営分は寄付対象事業に使う分を差し引いた、NICE の運営にまわる分。

7-4) 2020 年に頂いた補助・助成金 (見込み含む)

種別	名称	金額
補助金	雇用調整助成金	11,420,000
補助金	持続化給付金	2,000,000
補助金	家賃支援給付金	1,155,520
助成金	国土緑化推進機構	1,000,000
助成金	J コイン基金 (今年の活動分)	700,000
合計		16,275,520

貸借対照表 2019.12.31 (簡易版)

* 詳細は Web で公開しております。

流動資産	66,461,621
固定資産	4,099,464
資産合計	70,561,085
流動負債	16,652,733
負債合計	16,652,733
指定正味財産	1,429,860
前期繰越一般正味財産	58,842,921
当期一般正味財産増減額	-6,364,429
正味財産合計	53,908,352
負債及び正味財産合計	70,561,085

8) 広報

[目次に戻る](#)

8-1) 2020 年の 3 大ニュース

- ① 説明会：日本在住の外国人メンバー向けオンライン説明会を実施。9 回開催 24 人参加
- ② 組織：ぐろーまろが今年も活躍。8 人のアクティブメンバーが交流/広報イベント等を実施
- ③ WEB：昨年に引き続き、国際ボランティア/海外ボランティア/ワークキャンプで検索ランキング 1 位

8-2) 説明会・イベント

- 説明会：32 回開催 159 人参加（対面 13 回開催 86 人参加/オンライン 19 回開催 73 人参加）
- 大学・高校（授業・講演・説明会・出展）：12 校。詳細は 6-5 参照。
- イベント：66 回（対面 14 回、オンライン 52 回）
- 2013 年から続く「国際ボランティア大賞」は中止。代替企画として→



10/24 東京で New ワークキャンプフェスタ！

8-3) PR ツール

- メルマガ：隔週にて、国内ボランティアを中心に情報発信。
- SNS：Facebook/ Instagram でいいね/ フォロワーを順調に獲得。

	Facebook (いいね)	Twitter (フォロワー)	Instagram (フォロワー)	LINE (友達)
19 年	7,292	2,458	964	511
20 年	7,421	2,409	1,172	471

8-4) 雑誌・新聞・テレビの取材・寄稿

- 新聞：北國新聞に氷見のワークキャンプについて掲載
- ウェブメディア：NIPPON TABERU TIMES に大土のワークキャンプを寄稿
- ウェブメディア：和歌山 ASEAN 情報局にぼらいや一経験者の体験談を掲載



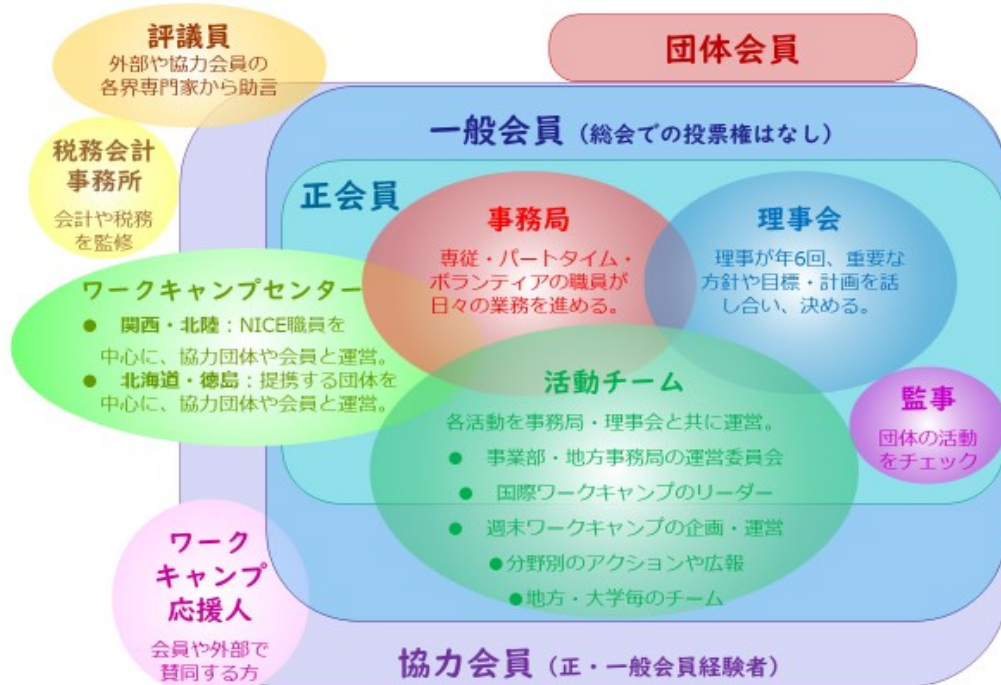
8-5) 2030 年の 5 大目標と、2021 年のステップ

2030 年の目標	21 年の目標
①ツール：NICE40 年を詰めた動画を配信	短い動画を集め、Instagram 等の SNS で活用！
②WEB：IT 事業部の立ち上げ！	データベースを参加者獲得に活用できるように計画。
③説明会：全県に説明会を運営できる会員！	10 大学で説明会。参加者数集計の仕組みを作成。
④イベント：会員と一般の「たまり場」を作る。	事後研修の実施で、会員コミュニティを活性化。
⑤成果発信：成果測定ツールを作成し、可視化	SDGs への成果を集めた動画を作成・広報。

9) 組織 [目次に戻る](#)

9-1) 2020 年の 3 大ニュース

- ① **会員**：事業減で新規会員は減ったが、会員経験者が寄付・参加・広報等、様々な形で素晴らしい協力！
 ② **理事**：「1000 万円プラン」や「危機克服・新飛躍プラン」の作成・実行に例年以上動き、大活躍！
 ③ **事務局**：4 月から交代で休業。事務局を閉じ、在宅勤務が基本にシフト、NICE ハウスを積極的に活用！



9-2) 会員 ～会費有効会員は激減も、経験者パワーはアップ！～

種別	正	正家族	一般	一般家族	小計	団体	協力	Web
19 年 12 月	29	4	1,421	7	1,461	188	14,841	9,061
20 年 12 月	27	5	412	7	451	1	16,326	10,336

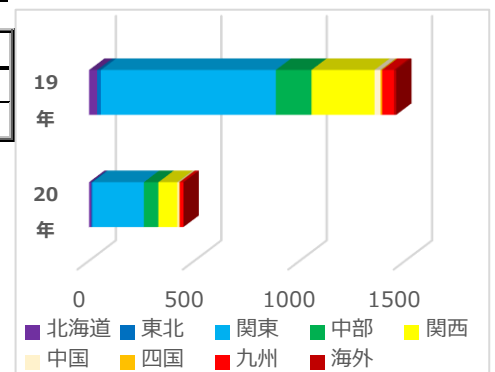
* 一般＝年会費を支払った会員。正＝一般に加え、総会の投票権を持つ会員。

家族＝家族で一般 or 正に。団体＝20 年は分類方法を変え、整理中（数団体あり）

協力＝連絡が付き、News を送る会員経験者。Web＝Web 登録し、催し等に参加

* 以下の地域別内訳は、年会費有効会員（正＋正家族＋一般＋一般家族）。

		北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州	海外
19 年	比率	3%	1%	57%	12%	21%	2%	1%	4%	1%
	人数	38	18	830	169	299	28	8	56	11
20 年	比率	2%	1%	54%	15%	20%	2%	1%	4%	0%
	人数	11	5	244	69	90	8	3	18	0



<NICE 設立 30 周年記念祭（2/1～2/2）：大勢で素晴らしいひと時を作りました！>

職員/理事	元職員	現会員	元会員	共催	元共催	会員配偶者	会員の子	その他	合計
23	11	26	92	29	2	4	40	9	236



9-3) 登録チーム ～22チームが今年も活発に活動！～

	種類	チーム名	活動拠点	主な活動	開始
1	週末	小山	東京都東久留米市	児童養護施設で遊び、遠足やパーティ企画	1997
2	週末	浜松	静岡県浜松市	ウミガメ保護。卵の安全確保、放流	1999
3	週末	富田林	大阪府富田林市	間伐、下草刈り、遊歩道の整備等、里山の保護	2000
4	週末	つくば	茨城県つくば市	知的障がい者達と、田植え・稲刈り等の有機農業	2002
5	週末	田原	愛知県田原市	フリースクールの生徒達と交流しながら、森整備	2007
6	週末	もがみ	山形県最上町	文化維持のためのお柴灯祭の補佐	2009
7	週末	しもぎと	埼玉県小川町	耕作放棄地の解消・里山保全・農業の手伝い	2015
8	週末	丸子班	静岡県静岡市	丸子地区にて地区の活性化、世代間交流を図る	2015
9	週末	裾野	静岡県裾野市	森林保全活動、農地保全活動、環境学習活動	2017
10	週末	大土	石川県加賀市	住民2人の山村で、田畑の整備等	2017
11	週末	今庄	福井県南越前町	地域の過疎化にともなう様々な集落活動の手伝い	2018
12	週末	氷見	富山県氷見市	地域の過疎化にともなう様々な集落活動の手伝い	2018
13	週末	加西	兵庫県加西市	耕作放棄地再生と村づくり（エコビレッジ）	2018
14	週末	瀬戸田	広島県瀬戸田	映画祭のお手伝い	2018
15	週末	岡上	神奈川県川崎市	緑地の保全、特に茅葺き小屋の再建	2018
16	週末	HAPPY BABY FARM	愛知県美浜町	農作業、農園施設等の整備、イベント企画・運営	2019
17	分野	難民	神奈川県横浜市	難民ワークキャンプの企画・運営	2018
18	組織	Kanyko-NICE	北海道函館市	NICE の広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	2017
19	組織	NEXY	関西各地	NICE の広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	2016
20	地方	古都 NICE	京都府京都市	NICE の広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	2015
21	地方	中部 NICE	東海地方各地	NICE の広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	1997
22	地方	九州 NICE	九州地方各地	NICE の広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	1998

* 一般＝年会費を支払った会員。正＝一般に加え、総会の投票権を持つ会員。

Pick UP!① 九州 NICE

06/20 八女市で田植えイベント参加

08/22-23 宮若市で植林地を整備

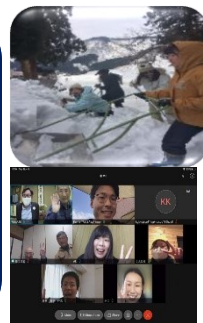
12/12-13 糸島市で年間総括の合宿

- 成果:コロナ禍でも山村塾で活動継続
- 課題:コロナ禍でどこまで募集するか
- リーダー:葛 由紀さん



Pick UP!② 氷見

- 今年は週末ワークが中止になったが、ウェブ会議で地域と過去参加者の交流を維持できた。地域側からも「活力をもらえた、定期開催したい」「若者との交流がどんな高価な薬よりも効果的」と。
- リーダー：瀧澤 健太さん



9-4) 総会 ～初のオンラインで活発に議論しました！～

- 日時：2020 年 12/19（金） 14:00～17:00
- 場所：オンラインを基本に、東京都渋谷区と石川県加賀市で
有志で集まり、前後に交流やワーク、話し合いを行った。
- 参加者：43 名（東京に 10 数名、石川に数名、他は在宅）
- 議題：①20 年の世界と NICE（3.9） ②理事の質疑と承認（4.1）
③20 年の活動・決算報告（4.1） ④定款の変更（4.0）
⑤新飛躍プランの完成（4.4） ⑥21 年の事業計画・予算（3.7）
＊カッコ内は参加者の平均評価。とても良い＝5 点、良い＝4 点、
…とても悪い＝1 点で計算。プログラム全体は 4.3 点。
- 主な決定事項：理事・監事を全員選任。活動報告・計画も承認。

定款変更（事務局を横浜に移転、総会の定足数を 1/2 に等）を承認。

新飛躍プランの5必須事業は、内容を発展させると共に全て承認。

各プランにこれから関与したい！という「積極的賛成」も集めた。



9-5) 理事会

	氏名	役職	入会	開始	任期	年末	職業	専従職員	在住県
1	開澤真一郎	代表	90	92.04-	-22.03	非改選	NICE 専従職員	92.04-	神奈川
2	初田裕美	副代表	95	99.04-	-22.03	非改選	大学職員	99.04-04.05	神奈川
3	馬本友幸	副代表	02	06.04-	-22.03	非改選	会社員	-	京都
4	山口紗矢佳	理事	07	12.04-	-22.03	非改選	フリーランス	09.04-15.09	広島
5	林広美	理事	92	94.10-	-22.03	非改選	会社員	-	東京
6	井口育紀	事務局長	01	09.04-	-23.03	改選	NICE 専従職員	08.06-	埼玉
7	菊庵章史	理事	11	17.04-	-23.03	改選	自営業	-	和歌山
8	金井悠介	理事	14	19.04-	-23.03	改選	会社員	-	北海道
9	金子尚弘	理事	08	19.04-	-23.03	改選	会計士	-	愛知
10	佐藤優成	理事	17	19.04-	-23.03	改選	大学生	-	東京
11	辻克朗	理事	15	19.04-	-23.03	改選	フリーランス	-	大阪
12	豊永はるか	理事	05	19.04-	-23.03	改選	財団職員	07.04-11.09	東京
13	金澤鮎香	(新理事)	13	21.04-	-23.03	未就任	フリーランス	-	大阪
14	吉本紀子	理事	95	02.04-	-21.03	退任	会社員	11.08-12.04	韓国
15	直井友樹	事務局次長	09	16.03-	-22.03	退任	NICE 専従職員	12.01-20.12	神奈川
16	上田英司	副代表	01	03.04-	-21.03	改選	NICE 専従職員	02.04-17.06	東京
17	末吉和弘	監事	99	09.04-	-	-	公務員	02.04-08.04	神奈川
18	小林和彦	監事	94	18.04-	-	-	大学院生等	96.10-02.10	埼玉

* 各情報は20年12月現在。吉本・直井は理事を退任、金澤は21年4月より新任、上田は理事から監事に。
 * 名前の赤網…現専従職員。黄網…専従職員経験者。
 * 監事の小林は7月に都知事選関連で不祥事を起こし、監事を解任・会員も除名。

9-6) 事務局・専従職員

- 事務局を4月から閉鎖（一時部分再開）。在宅勤務が主に。
 - 横浜の「NICEハウス」で活発に職員や会員の合宿を実施。
- 21年2月、全国事務局は新宿→横浜のNICEハウスに移転。



【NICE 専従職員 10ヶ条㊦】

（2011年に原案、19年12月の職員合宿で完成）

カラフルでヘルシーな世界を目指して、

- ① 自分の仕事に魂をこめ、誇りを持つ
- ② 新しいこと・変化・同調圧力を恐れず、社会問題に立ち向かう
- ③ どんな仕事もわくわくを忘れず共有しあう
- ④ 時間より目標を中心にし、人のせいにせず成果に責任を持つ
- ⑤ 仕事の先にある相手のことを考え、仕事にムラをつくらない
- ⑥ 先を読んで仕事をして、目標を達成する
- ⑦ 会員とフラットな立場で、強い信頼関係のもと連携していく
- ⑧ 自分を大切に、率直に意見や気持ちを伝える
- ⑨ 同僚も大切に、働いて良かったと互いに思えるよう協力する
- ⑩ 様々な個性を尊重し、カラフルでヘルシーな職場を実践する

- 4/20より交代で休業を実施。4名退職（2月に平井、3月に北村、年末に直井、岡田）。谷村が2-4月に臨時職員に。

氏名	勤務期間	出身	役職	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開澤真一郎	92.04～	神奈川	代表	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
井口育紀	08.06～	埼玉	事務局長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
北村英恵	11.09～20.03	兵庫	会計	△	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-
直井友樹	12.01～20.12	神奈川	事務局次長/広報部長	◎	◎	◎	△	休	休	休	休	休	△	△	△
水口美穂	12.04～	大阪	北陸事務局長	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
岡田朋子	14.06～	北海道	北海道事務局長	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
岡田守弘	16.03～20.12	神奈川	関西事務局長（-4月）	◎	◎	◎	△	休	△	△	△	休	休	休	休
小野由美子	17.06～	福島	中長期事業部長	◎	◎	◎	△	休	休	休	休	休	△	△	△
長谷川晋理	17.07～	徳島	徳島センター長	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
平井伶奈	18.01～20.02	宮城	短期主催事業部主任	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島山拓也	18.02～	埼玉	関西事務局長（5月-）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
永井理絵	19.01～	千葉	中長期事業部主任	◎	◎	◎	◎	◎	△	休	休	休	△	△	△
太宰菜里	19.02～	愛媛	経理・総務部長	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	休	△	△	△	△
藤原愛	19.02～	東京	短期派遣事業長	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	休	休	休	休	休
黒澤早耶	19.04～	静岡	短期海外事業部長	◎	◎	◎	△	休	休	休	休	休	△	△	△
梶田真美	20.01～	宮崎	短期国内事業部主任	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	休	休	休	休	休
谷村愛美	20.02～20.04	山口	短期派遣事業臨時職員	-	◎	◎	△	-	-	-	-	-	-	-	-

青字＝常勤。赤字＝パート。紫字＝委託。◎：常勤。○：部分勤務（半分以上）。△：部分勤務（半分以上）。休：完全休業。－：退職。

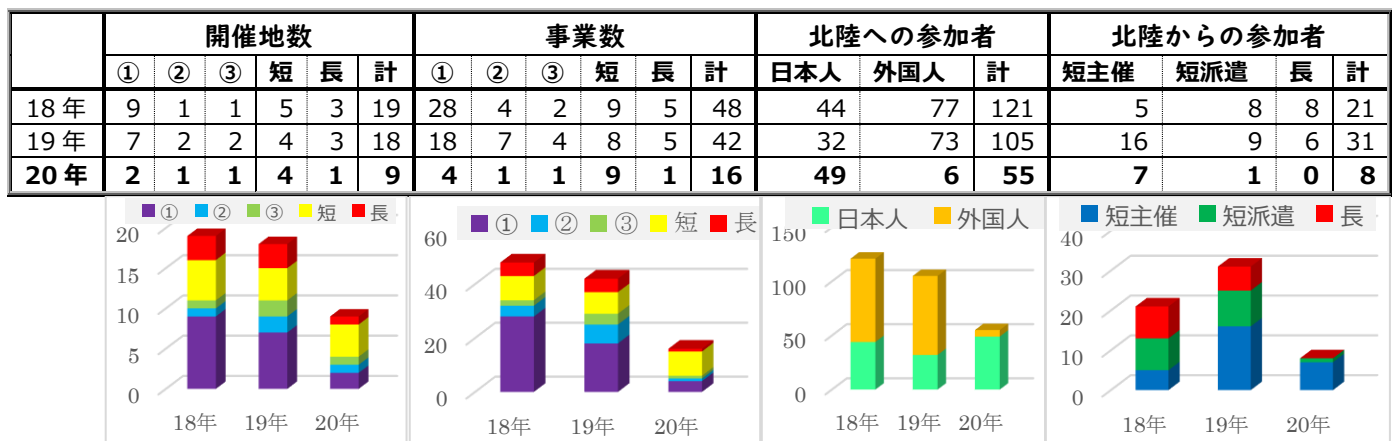
10) 地方（北陸・西日本）

[目次に戻る](#)

10-1) 北陸：2020年の3大ニュース

- ①事業(国際)：短期10・中長期1事業へ55名(新規1ヶ所)！短期3事業中止も実施場所は全て満員！
 ②事業(週末)：2ヶ所4回の開催。過去最少の開催数。国際短期→週末にシフトする地域も！
 ③連携：ジョンソンエンドジョンソン様から寄付金！

10-2) 北陸：全体の各種統計



①：一般の週末ワーク。②：国際週末。③：グループ・ワークキャンプ。短＝短期（7-31日間）。長＝中長期（32日間以上）

10-3) 北陸：開催地一覧（×：中止。◎：初）

開催地	①	②	③	短	長
福井県勝山市	○		×	○	×
福井県あわら市	○	×		×	○
福井県南越前町今庄	○			◎	○
石川県加賀市大土	○	○	○	○	○
石川県加賀市黒崎	○				×
石川県加賀市荒谷					◎
石川県小松市上麦口	○	×		○	
富山県氷見市八代	○				
富山県南砺市五箇山	◎	◎	○		
富山県富山市八尾	○				
新潟県佐渡市				○	

Pick UP!① 石川県加賀市荒谷

初開催！中長期×漆芸家！漆文化を継いでいくためのギャラリーのお手伝い



Pick UP!② 福井県南越前町今庄

短期国際を初開催！伝統産業の吊るし柿や梅栽培の農作業、花き農家と出荷のお手伝い！



10-4) 北陸：テーマ・現状と、2021年の目標

テーマと現状	21年の目標
①事業：継続・質向上・開拓で地域活性化を応援！	既存事業の継続を目指す。
②参加者：北陸からは横ばい。北陸へは増加中。	地域→地域を意識。ボランティアニーズへのリーチ法を開拓！
③事業：多世代の参加者へ働きかけ（特に親子）	親子事業へ注力（年間4回）。地域から地域への参加を推進
④広報：周知度が低い。行政等との提携が少ない。	大学・ゼミ・サークルと密に連携。地域フィールドを開拓
⑤運営：地域への細やかなケアが、遠方だと難しい。	リモートや地域半移住等、新形態で募る！

10-5) 西日本：2020年の3大ニュース

① (事業)「オンライン児童館」(鴨島)プロジェクトがスタート!

オンライン×児童教育というワークキャンプスタイルが地域から高評価◎

② (事業) 国内中長期で日本人が活躍! * 徳島&新町: 年間を通じてボランティアが滞在 (日本人は9人)

* 赤目&御所: ぼらいやー23期生が開催地を往来し、開催地同士の繋がり強化。

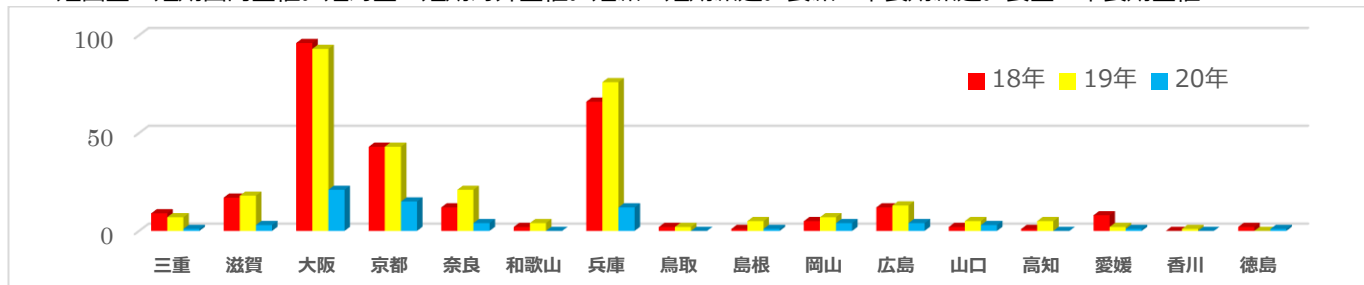
③ (組織) 各チームが活発に活動! * NEXY: 発足2年目で初の合宿、ハイブリッド型イベントの開催!

* 京都 NICE: 元職員が企画の合宿開催! * きらくぶ: オンラインイベント開催、新メンバー加入!

10-6) 西日本：全体の各種統計

	全国	西日本	率	三重	滋賀	大阪	京都	奈良	和歌山	兵庫	鳥取	島根	岡山	広島	山口	高知	愛媛	香川	徳島
18年	1345	278	21%	9	17	96	43	12	2	66	2	1	5	12	2	1	8	0	2
19年	1320	302	23%	7	18	93	43	21	4	76	2	5	7	13	5	5	2	1	0
20年	378	70	19%	1	3	21	15	4	0	12	0	1	4	4	3	0	1	0	1
短国主	163	26	16%	1	0	5	7	2	0	5	0	0	2	3	1	0	0	0	0
短海主	122	25	21%	0	1	11	5	1	0	5	0	0	0	1	0	0	1	0	0
短派	39	4	10%	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
長派	25	5	20%	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長主	29	10	35%	0	1	2	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1

* 短国主 = 短期国内主催。短海主 = 短期海外主催。短派 = 短期派遣。長派 = 中長期派遣。長主 = 中長期主催



10-7) 西日本：主催事業

国内 15 事業は、日本人のみでの実施がほとんどだったが、参加者同士の交流や地域への貢献は○。

〈参加者・受入地域の声〉

* コロナ禍でオンライン中心の活動が多かったが、改めて対面活動の大切さを感じた。

* コロナの中でも熱意ある若者が地域に入ってくれて、活動に貢献してくれた。

Pick UP!③ オンライン児童館プロジェクト

●開催地：徳島県徳島市（鴨島ワークキャンプ）

教育関係の活動のため、子ども達との対面の機会が制限。ボランティアの拠点と地域の児童館をオンラインで繋ぎ、画面越しでの交流活動を実施。

中長期ボランティアとも連携し、ワークキャンプ終了後も交流を継続中。

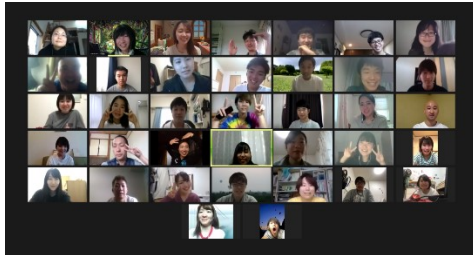
こちらは、三重県名張市の赤目ワークキャンプより↓



10-8) 西日本：リーダー研修をオンライン化

コロナ禍の影響を受け、リーダー研修をオンラインやハイブリッド型で実施。オンラインでの実施により、関東・関西合同での研修が実現！東西リーダーの交流が促進◎地方からも参加しやすい状況に◎

* 対面と比べての意思疎通の質やオンライン独自の研修メニュー設定等、今後も内容を改善・更新を検討。



【5月・全員オンライン参加の様子】



【10月・関東での対面組の様子】

10-9) 西日本：組織・チーム

<関西の活動チーム一覧>

*NEXY（学生チーム） *きらくぶ（気楽な企画部） *京都 NICE *NICE アラムナイ

Pick UP!④ 京都 NICE

1-3 月にチーム主催でイベントや説明会を実施。11 月にはチームメンバー同士での合宿を実施！企画・運営は京都在住の元職員（木村）が担当◎



Pick UP!⑤ NEXY

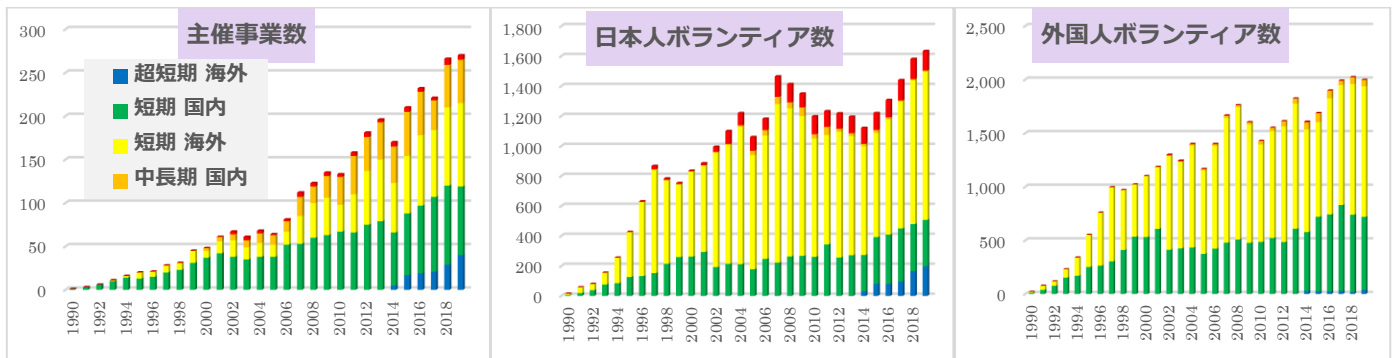
NEXY がハイブリッド型イベントの開催！
11 月にはチームメンバーでの合宿の実施！

10-10) 2030 年の 5 大目標と、2021 年のステップ

2030 年の目標	21 年の目標
①運営：中国・四国地方に 1 つずつ地方ワークキャンプセンターを設立！	* 開催地との連携見直し（OL を含めた開催法を協議） * 週末で新規開催を模索。
②会員：チーム活動の発展（学生～社会人、在住地チームへ所属、活動参加によるコミュニティ確立）	* 各チームの OL&ハイブリッド型イベントの定期開催。 * チーム主催での OL 説明会の実施。
③連携：より在留者・移住者が参加しやすいプログラム企画に向けた、関係機関・団体との連携	* 在留外国人向け説明会、交流イベントを通じて参加促進
④教育：グルキャン他、教育機関との提携の拡大（関西 2 校、中四国 1 校ずつ）	* NEXY と連携し、外部講師枠の獲得。
⑤海外：東/東南アジア、アフリカ事業の定着＋新規地域事業の開拓	* コロナの感染状況を見つつ対面開催の模索。 * OL 事業の実施を調整。

【おまけ：30 年間の主なあゆみ】

[目次に戻る](#)



年度	呼び名	幾つの特徴キーワード	世の中
1990-1994	黎明期	ほやほや。泥臭く営業。基礎固め	冷戦終結。ボーダレス。バブル崩壊
1995-1999	成長期	急成長。欧州中心。アジア種まき	インターネット。氷河期。ボラブーム
2000-2004	安定期	事業多角化。アジア開拓。会員活発	NPO。文明の衝突とテロ。MDGs
2005-2009	黄金期	第一ピーク。世界主導。アジア発展	社会起業。チェインジ。金融危機
2010-2014	苦闘期	海外減少。地方発展。企業・大学	震災・絆。SNS・LCC。地球人材
2015-2019	復活期	黄金期超え。世界は衰退。超短期	分断・抑圧。気候・難民・SDGs。AI

【出来事のほんの一部を抜粋！】

1990	☆冬の新宿の居酒屋で、海外経験者7名で結成 ☆初の国際ワークキャンプを富士山麓で開催	2005	☆厚労省の若者支援事業「若者自立塾」を開始 ☆ミレニアム開発目標修正案を理事会で作成
1991	☆海外ワークキャンプへの日本人派遣も開始 ☆世界会議に初参加、海外ネットワーク広がる	2006	☆国際ボラ・地球 Network 設立、日本で会議 ☆インドネシア、モンゴルと姉妹養護施設事業
1992	☆国連・CCIVS で、東アジア初の会員に ☆専従職員誕生（代表の開澤が大学を卒業）	2007	☆アジア初のシニア・ワークキャンプを開催 ☆台湾で初開催。都立高校で奉仕の授業を開始
1993	☆週末ワークキャンプを、東京都で初開催 ☆情報本「世界のワークキャンプ」を初制作	2008	☆温暖化防止の七タアクションを31国で実現 ☆農水省・田舎で働き隊を受託、翌年から実施
1994	☆初の海外主催＆夏以外事業をフィリピンで ☆キャンプリーダー訓練の、システムできる	2009	☆1年間プログラム「ぼらいやー」を開始 ☆市民キャビネット「外務大臣」として活躍
1995	☆NVDA（アジアボランティア発展ネットワーク）結成 ☆CCIVS 総会に初参加、東アジア初の理事に	2010	☆中長期ボランティア世界会議を主導・創設 ☆20周年に250人が参加、全国キャラバンも
1996	☆NGO・国際ボランティア政策を与党に提言 ☆国際ワークキャンプ体験談集を完成	2011	☆東日本大震災の復興事業を9ヶ所で開始 ☆世界森林アクションサミットを主導し開催
1997	☆中国で初開催（以後海外は自立支援型に） ☆NVDA が正式に始動、NICE は初代代表に	2012	☆ミャンマーとスリランカで、初の開催。 ☆Gap Year 推進 Network を創設、中核に
1998	☆カンボジアで初開催。アジア緑化も開始 ☆CCIVS 総会で、東アジア初の副代表に	2013	☆初の国際親子ワークキャンプを福井で開催 ☆福岡でアジア LTV サミット。キャラバンも
1999	☆インドネシアとタイで、新しい NGO を開拓 ☆広島発の「世界平和プロジェクト」も開始	2014	☆海外での超短期ワークキャンプを開始 ☆北海道と北陸で、ワークキャンプセンター
2000	☆ベトナム、モンゴルでワークキャンプ初開催 ☆中長期ボランティア事業の主催を開始	2015	☆25周年に505人参加。NVDA 総会も開催 ☆アジア JAVS を開始、開発・環境に大成果
2001	☆第4回 NVDA 総会を日本で開催・大成功 ☆年間の主催国際ワークキャンプ数が50突破	2016	☆気候変動防止事業 SCC を8ヶ国で開始 ☆ネパール公民館再建とベトナムのアン来日
2002	☆NPO 法人として認証、関西事務局も開設 ☆グループワークキャンプの主催を開始	2017	☆前年末に作った NICE 版 SDGs を広報・普及 ☆徳島でワークキャンプセンターが誕生
2003	☆海外ワークキャンプ参加者計5,000人突破 ☆国際淡水年へアクション（エコたわし等）	2018	☆NVDA で創設以来続けた理事を、自主退任 ☆NICE ハウスが神奈川県横浜市に誕生
2004	☆東アジア初・最年少で開澤が CCIVS 代表に ☆急増する児童虐待への対策アクション開始	2019	☆IVS ビジョン作りを提唱、6協力網で完成 ☆事業数と海外参加の日本人が、史上最多更新

NICE2020 年・総合報告書（暫定版）

2021 年 1 月 2 日作成 ●編集：開澤真一郎（NICE 代表）

特定非営利活動法人 NICE（日本国際ワークキャンプセンター）

ウェブ：<https://nice1.gr.jp> メール：info@nice1.gr.jp（一般問合せ）